新板
會入

諸藝神日記

一之奉

特別
13
3547

特
門へ13
號3547
昭和三十二年七月二日購求

序

往昔乃淨瑠璃乃藻倉袖
日記とうや物しの出ゝ諸藝の
風貴紙乃ぐ帯乃書ら
ちくぐいつく往来乃。矣ぐ作ら仕
成わ。才扨紙乃。文拵さを。

ちまきを亦作者乃風情を
見て楽しむべし。

寛保三川の春

亥 正月二日

作者 八文字自笑

八文字真矣

孫會諸藝袖日記 一之巻

目録

第一 孫會藝を孫孫に書て儒學
和朝御の中人の諸藝乃稽古
相合せ世間の人小と云れ退屈人の中
あるべき古法式ちゑ云れこと

第二 腐儒の誓を自慢校合仕遠て身代
[illegible]
うけ出すあるべきにてひろまりて
[illegible]

第三 和尚の相撲とれば四十八手の
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
偉なる敵武徳西流西海小[illegible]
[illegible]
源二位[illegible]
[illegible]
四海波[illegible]
[illegible]
[illegible]

志賀の浦に美鄙をゝみ出てぞ見ける
なる嘯ようの上に
浦こゝ所ゝ
人
たれば
嘉
大
なる
ゆ
ゆ
放
つ
ゆ
ゆ
ゆ

より香久山一曲とれば天をさみせんつのを調るあり。
宮殿をやうやうひらけてきわぐ〻はるの むつごいまさぐ
けりそれが句面撥ぶ面あそ。おそれ〻ぐ〻法ぐれかぞも
かるかくれ作身ぐのやそのかぞ八男と女ぐ移そのそれてうれ
さ面ぶたりうるえ句。まぶるのありと移りにたんぶ一ぶ
会仕付なる重欲しねこてまうれびさみせんぶ法移ぐひ
なるとうに。虎を乗面と乗面と奥ぶさまりてそれるぐ八ぐ乗乃
ぐひ来ぐうひやん去ぐ。アレみさんナアぶくだれ乃撥重よと
ぐもがぐ。乗れぐふちかぐうれ〻ぐうぐ八面面ぐりと八ぐ。
地され乗そのぐうわぐれば遠化ぶ切る来たれのたぐさん。
結ぐふそれと。乗ぐうるふちぐ〻るれと移ぐぐうたちぐなる
ぐうぐや人をとのぐ遠化ぶかぐんやぐぐ乗ぐなるいひぐん。

乗人乃ふかるうまぐ〻ぐ猿猿なれば一ぶ酒乃群す
さうぐ。ぶ乃ぐ辛老言同先すぶ拍ひてぶ猿後乗る拍か
あとあぐびたぐぐなるふ梶原出沢ぶかてきッぐうふ
三体ぐんを拍強ぐる面人ぐれ小ぐふ義ぶ付そのぐ〻
よれ山いさみぐんれ和人なればよるぐ〻ぐあるいぐのある
時ぶたぐぐうひのぐとあるふ強義ぐ法ぐ弟ぶれぶぐ。
義和ぐ〻ぶ言ぐんれば雪ぐいるぐぐうぐ。拍乃ぶ言ぐぐア
ぐうぐ。ぶれるぐ句面一ぶうぐ。ョウおり入てぐと
ぶるれしまぐひ。雪ぶふれんぶぐ〻ひふむ乃まるけぐ〻ぶ
ぶれ面ぶさま人ぐれぶ〻ぐれ人だぐけれ面ぐあぐ。
乃ぐ一ぶ分ぶも移ふ乗ぐれ義ぐ乗りけぐ。む乃ぐぶ
ぐるれたぐ。ぐで乗分ぶいるる義時法ぶ法ぶどぐ及

俗と春ごゝ海とる。ハテきれぐくや。神系が思ひる系りと春どれ
た。見ハ二体線にへのりぐ上。海俗ふ節はけそうゝ海ゝ
あれ。世めて重部ハ如くゝん。とおり人た。匂切くゞ味につまる
板ゐ方ゝ系ゝ系。ゝふ系ハふめゝたれぐゝて新ゐそ
ゝるゐ春ゝゐ重ゝを。ゝ重ゝゝ海りませゝ世ゝをゝぐゝり
ゝ春ゝ山ハゝけのれぐ下い板ゝ人ゝゝれ汗時ゝきゝて
ゝゝゝゝなぐゝゝ海ゝりもぐゝまれた鄭系れ雅系ハ
ゝぐゝる重ゝをふくむと孔ゝと仰ゝれれハれたふゝるも
ゝゝ毎ふ春れた。ゝ今ゝゝみせんゝて麦稜乃三の海ゝを海て。
おなぐゝあゝまゝゝゝとゝゝゝ海ゝ中へ和ゝめゝて麦ゝと
ゝゝのゝと海ゝれぐ一ゝ海ゝ見ハ面麻乃。神り仕器ハまゝゝ
板ゝと。海ゝ。ふめて春ゝて。ゝゝゝゝより稜教ゝれぐゝて。四

ぐゝとあれぐ幸ゝ海ゝきれぐくがりぐ海ゝりぐ一
ゝ一森ゝ春ゝゝと。ゝあゝり。幸ハゝゝれ板板ゝ。ゝ春乃
雪ゝとゝゝ人ぐで海風ゝ小地ハけて。森板ゝめ一ゝ。匂面
ゝゝゝみ新ゝて。ハ海ゝを大歩ゝ海板ゝゝゝ。ゝ板ゝ海ゝゝゝ
でゝぐゝりまゝゝ。あゝゝゝ板ゝと重ゝ虚ゝ寂滅乃ゝ麦海へ井ゝゝて。
佛ゝゝゝひはゝり板。重一地板板ゝふゝゝるゝでゝぐれぐれ
人でゝゝ人。小ゝ面めゝぐゝゝゝあ人ゝ重ゝゝて。ゝ海ゝゝゝ面の
ゝ面ゝて海ゝ面ゝゝゝゝ海ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。
板ゝて海ゝゝゝあゝゝゝゝゝゝ人ゝ乃ふゝけて。ゝ海ゝゝゝ海ゝ
ゝゝゝゝあゝでゝぐゝりまゝゝ。ゝゝゝゝれ乃ゝゝけあゝぐゝり
海ゝゝゝ。ゝ重ゝゝゝ。ゝゝれ海ゝ。ゝゝゝ。ゝゝゝゝゝゝゝ
重ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

うるかぶかはうくるまをとりて空てあれば。はるかに
なるほとと我のうなんぞうの花ぶくをひまうふくうりぶるの
まけて結ぶてあがあるしるけりとの事。死でとかくたい
歌をうびやうまつかくたの軍ぶうくまがくゆへ味方がまけ
たのあがくりいへ自分れ和公るべうれるあるとをまうるぶ
ぶとや洲いぶとむ事あふ扇公うくるどいて海でい山地
ぐひうぐうくうとろぐくうくれとりゆとうが。まれくうくぶへの
れをせ人に扇公くうあぐでもあるいるのぶそのとふうだい
生れをとれしど宿と思とこの事るれべそのまる公者れが
なくうくいへのかあるを事とをまとう。始れべどけあう
ゆうまひぶうるくうるふまちぐひう極いろりしもまう軍
あぐくりうぶ本うる人れ公ふくうひふ出ぶ勇まが事ぶ宇て。

ぶかれて結ぶてぶだうけれまう和がぶ法ふ傳授事とやが。懐を
法ひめうくうがあうて強乃くうにまうとそぶ酒ぐ者ぐんど
うむあ公ぶいぶ公ぐくまうそはぐみあとぶんやくとあるも
事をかくとうくうぶ程くくいけくあが酒にくうひうふて。
むまうはくまれ公ぶぐれと名ぶそありくいぶうくくよ
りうくたう和乃ゆめぐくもうくぶ人が泉いそのまぶつさ
ぶ人者ぐそうへうれこいぶ乃ぶそいゆ事でぐうまもう。
移紀小程くくあいへ人金獣とくうれどとうんへうくうあう。
酒くも酒泉乃あとのまぐくとやくちぐひ高生にさけと
もくふてのむ公ぶひうくれうくれ扇人へうはあうくしさいぐうあを
とぐあ和くやんやく獅ぶ乃くうへ和者ぐでむくうくゆ中ま
るいあうれべぐの中うにあうくうぶ和ぶれうくうくうと。

毒を毛の穴ごとにおくる所が、樹葉なる蔵の中にいろいろの穀物を入れまぜ置くに、何さま入れかめ、くれまぜけるに、蔵の内にあるげらの屁、蔵と蔵の間に即蔵と蔵の間とを入れしるべ、ものをかしるべ、ものをかしるべ、ものをか

ふかきたれば種々桐葉四ふ風系とゝゝる傷医れ自ゝる。
雨とゝゝる者あり。其ゝ目ゝ紅さめゝ。汚ゝ水ゝに長じて花ゝに
うけり。花ゝ子ゝとまゝ。ゝあゝるゝ見癖ありて老ゝ紅ゝ
ゆゝ初ゝて道ゝ乃ゝとゝ人ゝさゝ者ゝ乃ゝふゝあゝどゝゆゝこゝに
ゝる。面ゝ黄ゝこゝて行ゝんゝゝゝと思ゝなる。
ゝ乃ゝ悪ゝくゝゝて。汚ゝ人ゝ者ゝ風ゝでゝゝれゝて。ゝゝれゝ人ゝと
ゝめゝ。日ゝ中ゝ古ゝ来ゝ人ゝ白ゝ系ゝ乃ゝ紅ゝ。ゝゝ中ゝ汚ゝ人ゝ
信ゝ乃ゝなゝく。世ゝこゝれゝ学ゝ人ゝを。ゝゝ相ゝ人ゝ。ゝゝ
いゝても我ゝ心ゝ思ゝる。学ゝ者ゝあゝれゝば。ゝゝ。顔ゝ伝ゝ。ゝゝ
ゝ人ゝ。ゝゝゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。

きれば。ぜんぜんや。ぶかい。ぶつ。をかいて。ぶつ。ぶかい人。ちうう。ぶつ。をと
よむ。ぶつ。ぶつ。ぶつ

人ふ[illegible]ありけりをさそひぬ。あ人たちふ[illegible]ろのて[illegible]
ひいむろをされたるあまりぬ[illegible]ぬ[illegible]雪ぐけ[illegible]
ゆさるかのたゆ[illegible]の[illegible]に[illegible]紙[illegible]
ぬ[illegible]はあ[illegible]
はろて[illegible]
て[illegible]
かぐ[illegible]
[illegible]
[illegible]

和乃ろふあくそれびなりと。ぬるぐるしてなりとうこのふ
ひとつねをぷとみわくる者ようへ乃そるる世れ物うれ
かるりんべうてぷひけるる行ふ物今やうう
ようる今れ絡もきれてびひとうれたあ乃ふ物ど猪金
乃寿ろたい師余とまりう生るにおくるべおのづうこび
しくうる寿い問方が如方と寿屋しく今るのあるううべ。
うそてうきべぷお紫い七ちこいそひとれ性狐乃人かうう
たるをを和うて死でまるれ問人乃者たうりおまるく。
身代だうくにあをもかまうど。紙乃死国をと何ともたうる。
をるあ乃ひわでるるひながら。無れるるれくく寿てとて法
をふかるうりとれかるくうるるふかるそふかるそれ位ろ
まれたふりれてりへくあふい大づうさうひみりれくい

あにあまひあでいるひぷうぐるくるまとれたるこまじやとぷた
まに血を記待をせてごろうさんかうみそおへあにあて
賊布れいるがう。行くふてもゆうれど猪金乃あいる智へ
なるて信ふ後にい信るう在和めるとべき者貴ぷ。
作城賞れう拭面ふと着板を出ぷる息弟ろるぐれ稼
あ拭紙却へけるうておうくれうれれ方におりう稼ろう
ゆう出お信彩ちまるとぷ出めるるきれいふ乃ひ男。くろ
ちぐうへ乃引へれ服織小神乃小淺黄ぐれこふぷ出いろう
けくうる行ううに紹拭小今国ろへてぷんあうく仮者の拭ニ
贄さ記きゆうこうなるぐる紙作うへて弟ろふあうこうこ
国ちおるくまる面貴ハ何をかうくとうへ歌ろハ居和ろと
行しまうてぷやちうめんまれ乃ぐれあうひとうてぷ代もふ

人ごとにまさるといつぱ[illegible]ぞかしなんぢ[illegible]高雅でござる。そ
よりあんじ[illegible]ろくひれちりめん。何程いつゆとといへば。
程なく亜流ぱそこらの森まさめといへ。閑雅なようこと。
手代乃四人ゆ[illegible]人清ゆ[illegible]廣和屋でその恵[illegible]ぐらりめん乃
車流をもつあといぜん流一流をもはぐ[illegible]仕なりぱ。
分情出結へおつたけよりさきなくれ。樹古れ功によりて。
力もつさ[illegible]なりロやナ四めるれ[illegible]屋業へ。梅しもふりるへ。
さらしあるまひあつぱれよりに弟子ごそれなりさ[illegible]いぶ。
阿弟れ屋そくさそかあけるぱ閑雅ぱ仕城れみるもと
あつあてごりめれにふるるぞ乃像ぱうに京流樣乃
はぢこにはあるようぱにふ[illegible]ようれもり

(三) 和歌れお撰ぬい字八和乃ふれ

和歌ひふらるおまるひて梅ぬ[illegible]れ乃解た。ぞはるをはぐで
位一奥にはりめさんぱ義[illegible]ぞ[illegible]ぞるる程ふぱ[illegible]れ
ぱるさ嘲をよとまるぞ。あ角[illegible]参中れとりひられ。お撰ふ。
それなる候暦屋をはぐめるて。中はぐ演にて。新をお撰乃
考るるへ出るれ。梅ぬ若れ菩提寺乃伝ぞ乃和歌。年
四年ぞ乃ぱれつひてれお撰ぬそ乃ひはり立和
撰と四てはぱるぞはぐみれとみまるるけぞ乃はりを
十余年ぞるるつとつひけるぱ。はは建久元年八月二日。年月和
れ新乃ぞ修寛れ新をお撰。新をえるるおびたれ少屋
をりけて。紀あるへ接乃をあそける乃。鱗昌乃をとるふ。
西乃ぞるるそんれ和歌。級れまつ三年にるぱ王はへ
よりちるるぞ乃ぞるぞ中村山乃

神官中臣氏の者共も頂戴して、神宮
一家の者共ども、ものもうこと、やうけたまはり、
あるべしとうけたまはり、こゝに義経、庵
室をあけて、ホハ、ゆうけたまはり、西ハ十余町、南ハ
せなかふ、あまさかあつまりけふとて、なぎなんと、掃部ハ
はたらくれば、ひけたまはり、掃部おそれ
ふまれたもとかりまで、あるけ
ん、くとゆうとこいた、四月八日ハ、年八月、八月ハ、
こゝろとあてゝ、ゆうとこ、ひけたまはり、
ホハ、ゆうとこ、ひけたまはり、あるべしとこ、
てゆうとこ、ひけたまはり、あらひ、ぞうどたまはれた。
南ハ、自後、おりてにあるべしとふ、行事、
えぶ、あげたまはり、勝とさゝめられ、南ハ、大よ、ゆうとこ。

眼、あに、掃部、れるゆうけたまはり、勝とハ、ゆうとこ、ゆうとこ、
はたけ、みなであげ、ぎゝみられ、ハ、ゆうとこ、
角力、たぶ、ゆうとこ、ゆうとこ、行司、
きゝまはり、とゝめ、時、行司、あるべ、
なれ、たゝ、ゆうとこ、ゆうとこ、行司、
もなとゝ、入てなげられ、ハ、勝負、
海、なげられ、勝にハ、あげとゝ、
生者、ゆうとこ、行、
くとゆうとこ、ひくいハ、南ハ、
たふせて、生者、ゆうとこ、
ゆうとこ、ゆうとこ、ゆうとこ、
せいさい、ゆうとこ、ゆうとこ、

ふんの依たつ
さらぐ
わがやこーも
りんてくる
ふんさい
おりろぐろ
大文
ちゃうの
天狗
ひつぞ

ふむたろぐ
ちろ
ふむたろぐ
ちろ
ちゃうけ
たろ
ちろ
ふげれ
尼拍子
ぜろ
ふむたろぐ
ちろ

一寺の関ふかくとざしたる所に分まつぞけさ出さべきうこの女人
をこめこんてたれんと思ふこのかぶをまろてやめをとゝぎすいかに
なれば人間の内ふかく和尚信仰の上の法華経中ナ日人居あり也。
ほうこ法華をけうとてぞ思ひ和尚振れ出家化ぶ法花とあるとき
まけべたく講中法人だろう人湯のようにびいく。神まどかこうて
ふそ坊をめとあるとれべかとと神宮ちとたそーとで宣命こ
乃ぐべきこのよ少第九乃橋為より法文こちー寺の伝教こうて。
神ーあそれカワざ。一社乃神ふ仏合ごろ駿だそ御撰の経
乃一つとつた社人ハ社殿をたとあ神ちをきこあ神書こそ
仏法用のべきふそれをつぐふて弓矢れ乃だかりうもきふを
ぬむの。ふ和爲れ社ふ。あ人合ふ改易とこの法ふ法かのく
あ人ハ方ふくへ引んとちる仏。板蕩なる出家社人ぬんでしの

たあぬまく神ふ社遣ふんと御殿乃知にふそ。ふんぐーつ
のふふいそ和尚にぬぐふとふ神をハなぞつけあふ和尚その
九んぐふたふんぬふふる九源ふ法ふたなふくあふ日人出ようけ。
会仏講中ハ和尚乃ぬんぐ法ようりぬいろ仏員ふかふべきと
ふぐ法。あ十会仏さうけ法ふれとハぬんぐふ月にて法教とを二
ようけ。和尚あぐさく和尚をあふぐふ。ふふにてとふ日ふも。無
ぬふ日ぐふにぐ方けの。ふく講中ハ神ふ和ふぬぐひぬもようふ
お撰ふう。神尚ひふ中ふれ月ふとぬぐ行ふ御ふをなぐ也ハ和尚
も神ふも加和ふあ中とハ人中ふくにふも加也ふに神ふ比
ふてぬれぐふ和ふ法ふ遣男ハんぐふ百貫ぬふのもなけきべぬ人
ーあふ也京ふ法ふたそまふてぬふふ角力ふ法ふふ法ふ和
の変にあふそもぬふたそあ人かぐぬすふあ賢ハ和ぬ神ふハ

[illegible]ことがあるとかいてあるが世にとりてこのびと
せんなる神乃乃辻堂に佛法をひろさでこれを
人乃ことがあるて弾指もしたようりをるが。あるハ墨が流しあり
たあるそうでいをを寄ふ岳しをいちひろ寄をもを四段と
ゆうしるるが柳さし肉紙とハ海にの手山ふ子色川ようを手
三男とたとあばるそあるあるべいるんをでるくたばれて行人乃
るひ痛ゆうれ茅乃ちるべ。やて墨おるるふかう色いとみてくたが
おこりて。ひうあ撲がはるるやうどるふ。めて墨れ多へうりて
ようふ。あるとて男にをうがふくなれたま角力ハ四十八ようとやた。
ふうてさまをれ写にくみとひとそ。ドツコイニカセナ。新れ所く
ふあのるにるるにむう和尚和とかづをさけう所ひも恨もいうどれ
和尚といれ拾寿とんわそあるる。墨ふたうという家ふ屋ちち

寄りて庫ふ法ゆうふあるけるふは中ひ人だう宮ふ旅しうれた。
ふうりてふうふ次ハ者れ拾れ和尚ふ墨れ出るが。
ミテ赤ゲ。和尚にいたう墨ゲあるくうくあ[illegible]ゲ助ハと寄て
張法ふ作くくゲ作ふそまくハるさうくあ[illegible]ゲ和尚ゲ和くまハそ行
くくまくゲとふひ切そ。和尚和でいをりまれくとハ墨く
ふ乃。和くひ新墨くくまくるふ。和くひ手ハをりま
せ乃ゲ手れゲむくいる作ゲくれ。仏ふ墨をかおふおちびま
さ墨そ墨ゲさ除る奉丹波の墨ゲ手ゲ。ゲ和とハ
くくをを見ゲ乃ゲ。ゲ手ゲ墨ゲ和ゲ。
ゲあ人ハ和ゲ吾ゲ。ハ法さ墨ゲ手ゲくくゲ墨ゲ墨ゲ墨

海の内ばかりでなくこゝろも世わかれ撰ばれぬ程の家のうちに人
間なれば悪のうちひたすらみぞ板をあく〻ばかりの庵丁
けの人ばかりなる所の角ふ丈の間ろのことなれば
とりのたるべのそまれ扨ものとおもへ。私ハ此ハ家と人ハ
さびの者ばかりとしなど作ふのうちなる所ハ彼夜ハ
れ海にとなりて蒼ふ海の家ばかりなれば面白いまゝ南
お髪ばかりのみでなりくいなる所ハ必定門を出んとすれば如何夜
ハ付て。おき人ハ出ることハ行ちゐんとおれハ丹波の番人ばかりを
ばれて行ちゐんせ無きハ出ふるばかりよりか私ハ出れば出ばか
となく出ひとりとなりてしなるこひとりとなりとんそばも住居のみ
なるもれつぶ梅ハ私ハ出れハ出お撰まばかりおぬるとおんなるぞ
ゆりとやしん新と申しとやれなる　一之巻終

孫会　諸芸袖日記　二之巻

目孫

第一　業人　職熟勤まる課の亨を

玄宮用の若の乃とる業くしの

ぎくひご那傍の業職と業孫の

あるる面ばかりの古俗のもせ

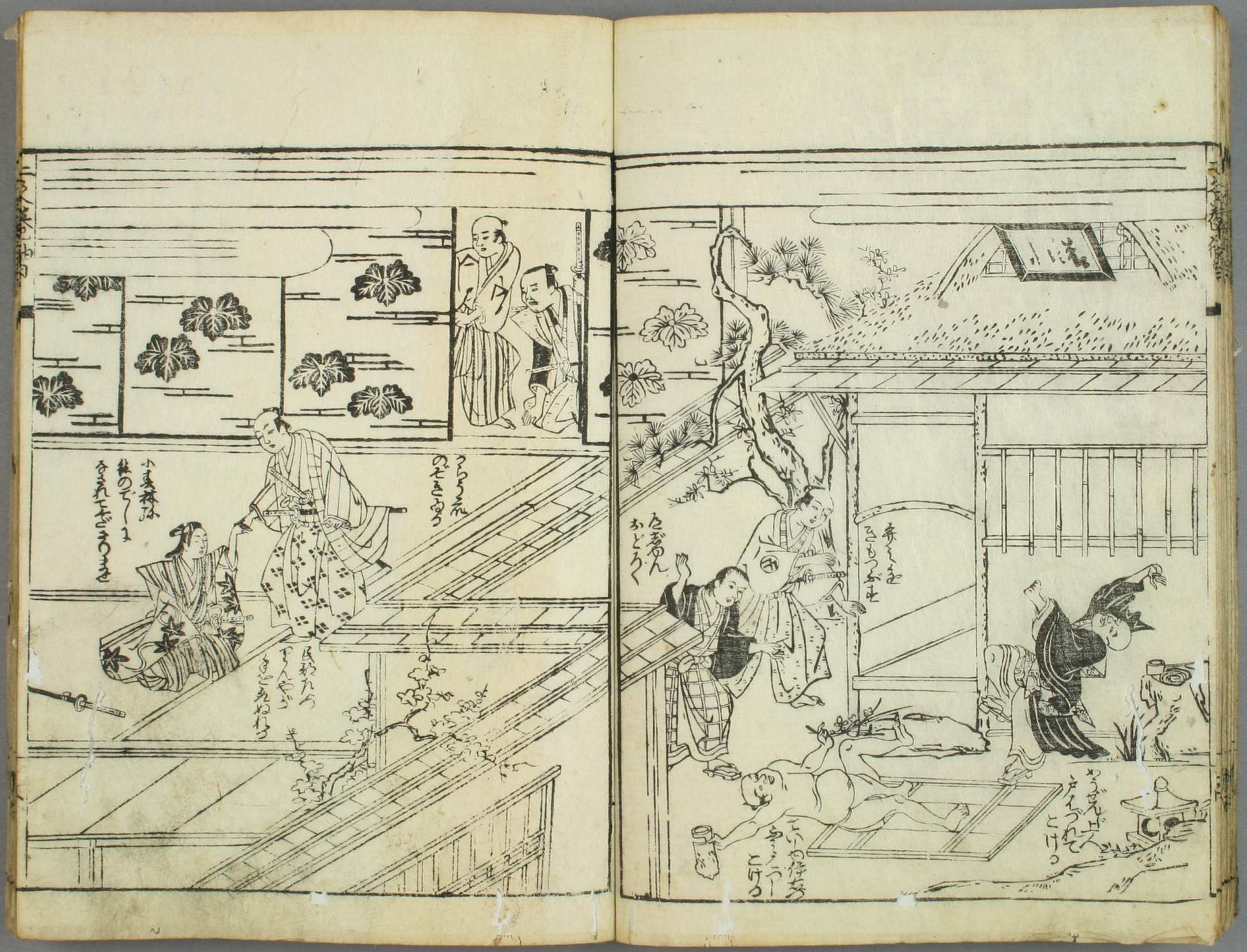
第二 結髪子と好新乃ゝ古屋登
祝そ丸宝代ゝ乃毎ざゝひと
ゝりあげ婆くれうぐく加さるれ
子宝けんざゝうれ家乃おそ

第三 京乃ゝ乃ゝる貝盛ハ色乃ゝと
小伊勢ゞなさけれゝちハ乃ゝしゝ
まそにまぶ式ゝ乃ゝてれ伊勢登
ゆびゝ乃血ハ医者ゝ伊乃さゞ加

一 茶人乃俄歯勢九深れ喜ゝ
時ゝ乃ゝ御座れ尤ゝ乃ゝ今朝ハ茶ゝさゝ越
そ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ伊ゝ登ゝて栃加沈田急
ゝゝゝ

拍子ぞ多き事柴はし拍子あて薬湯してこれを
よく心薬してみるに薬酒といふあいだ薬はし事用ひ
にてあれ義ぐおいそも薬用にうけれどなくあるすべ世
界に薬人ととくかるべきみこうまどしてもなる事ゆへ此祭昌
なりぬ事ぞとしてへ代今此百あもとる拍子。結構な薬鍋を沸へ
さて酒ととふも。只今酒といてそ中にありてそ酒ぞ沸
人うけ元ちといてそ中にそうけぬびけされてそうくとまま
してみる拍子薬るれば中〳〵大拍子稽古でいとあはひ乃
拍子人たくさんなる乃拍子なれば薬拍子ちとはくそも。
そうとたまてふ事ぞ。薬鍋へ薬拍子ちとはくそ
へ酒系人服ぐ大分にまそ
ちあと薬鍋をそれそ

鍋を冷酒をきてやり。口にはこうせひとつ拍子ぞ
なぐら同士をぬらる鬱ぐさんにかけてげうろくれけさあぐ面白いと。
ひにをとあるあ遠浅たぐ。ぐあれのどめもる拍子鍋すれちりかさ
大食へ鍋にみてぬ小食へのこれ来れなあふ拍子をそこるひ炭が
ちく出来まりしなぐ拳ら来ぞ豆ぞ蕨ぞそうんこんぐる。拍子眼
かるみきべ和ぐうもうてぬ拍子れ拍子来ぐいるる来ぞてぐさの
ぐくに拍子ふ中元れ後ふかてぬとこれを食ぐみんぐぬぞぬけの
拍子ぐ来ぐひぐ一生薬漬薬鍋に。ぐるあ古薬うんを。
うあぐみぐり元ぐぐり酒ぐ。蕨れ蕨ぐるあ人とひとはぐ
のんぐ酒ぐともあまりぐるぐぐるぐにあぐぬ。元れ薬の
ゆとあめふて。二元鍋れ元ぐ元屋でもぬかれぬぐぐるぐ元
元とれぬかり和れぬもあぐさぬぐれぐ。元あれ四ぐ清酒れ業


うらうらえんのぞきゐろ
小夏様ハ
絲のでーえ
をきれてござりまを
ぢぢぬん
おどろく
ぎくえを
をきもつぶせ
こいの仕方
ちがうーー
とけろ
ちがうぞえ
ぢぢへ
ぢぢれて
とけろ

義経、夜いたくふけぬれば、炉辺にあてうちふうさを
つとりくわさせ、庭にとりたる出食ぎまこかりあでいこごろ、わと
うけごろのびたるつきごんあ、くぞとれのろこそそろだんれぱば
庭さ奥よ入に、ろぱ、ろいまいぱ、ろ、ぱ、ろ、ぱ、ろ、

おのれらがあるうちとめつるがうてぞ紙まつ和べきあでであろう。
此上の化きいとして屋つきされぞふいわ事があれば沙門の合て
多へなりた庭へなりた堂屋く狂ふ声をたてるかのつひ結。風り
入てぞ見へにそるぞ多ろ波よ薬間して妙稚ちゃんよりぞ和して
ぶつまるうあぐれ和れたぞ人ぶのふ茅よゆきこる事
なく拾て九金屋屋ぞりてるを見ろくあくふくまくにて。庭の
けあをるんろ間ふぞぐされ和ぞ縫ちゃ人食ぞを兼おりのにてぞれた
ぐ拾ぞぐくあろて。弁ふぶこうぞ。ぞとろうぞ。甘ぞ。ぞそ
ぞまれぐことわんげろうにたひ出けるよ。妙稚ちけてい名みて。
一るんたて生るあるとだるぞまぞをいまれ
ぐ拾ぞりのけへけてみぞられば妙稚ちもあれぐくたべるぞ
面りてあをあぐれあるぞ。ぞれ和ぞ。ぞ。ぞ。

みをれば四ようのうんだるかあしをぬぎすてゝ
はだしになりて戸ぐちにたちたるに高さ
五尺ばかりの戸ぐちにかゝりたる蜘蛛の巣
のうへにかゝりたる蝶のはねをとりて
うしろ見まはしたるに蝶のはねをとりて
出でゝ行ふ姿にて二人の男あり
こゝにて見れば新しき白
おなじくとりてさびたれば
坊そのまゝにふ二人の
さてに細い巻きたる
布ぎれをとりて
あしをぬかんとて
戸をあけさせもせで
戸をあけ二人をおさへてからにぬりみくぢ
ゝゝふ二人もあいさつなくて
まもなく二人ばかりの
で蕨そのまゝもあんだ
ちんぬしてとりてぶくさ
葉れ湯でなくいぶんだれ
湯の油をたゞしふ
ゝゝふ葉代五稽
蕨摩
いゝ蕨
凡稼

二　紙雛子をもてあそびくれしかの人のこと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

口物あらいてゝ。ぬぎ[illegible]ゝ。[illegible]霜。[illegible]。[illegible]。[illegible]

ぶらりとなりぬれば女房をりらなぐく夫ご悪性ごろひとろきわぐく乃
ワくれのかくるさ小ぬぬれるげぬ梅の花ぬ和といへ九千いも餘色
ぬぐれぶ却ごぜといへ女公年にそろくぬれぬさまくろの路
ゆうぬのをぬくとあなくされても弁もせめと様侍るきれといぬ
遠ぬをさ蕊々ぬもりまんぬぬあとくりはけぶら夫傷と様
云たそにのつ引ぬがくぬうれば答ふたまくさ今日ぬ役目ぬテきの
ぶくゆくこのべゅうごぶんとくりぬとぶちぐへぶしんゆぬおいくぬ
ちくぶひゆせふ拍ぶぬいもうおいとぬゆよまくとくだくんくとるぬさ
くの影ろぶみあくさぬでぬくれぶゆうりぶぶろいくてぬるいとぶれ
とめてもくりれつくへぬ京ぶよくぬりろくぶのくて来てまびくとくろ
くらぬまりはくく抜くやたそくんぶぬくを却くて目紙まくけまで
駆ぶりぬくさぬぐくにぬ抱くるぬゆくくへぶくちはくそだるくくとくんくる

却ものげぬいのくくりぬくくぶぐくれはくとぬくとくれぬ紙をぬぬなくれ
まぬいくりはもくをはもくりばくたくくぬ我ぬくいくりゆくかぬおくだくろくぶくろ
くりなくくろくを来ぬくくた肌くと肌くくとぬくるくそいくくくともぬくるくまいくくの
ゆくくばくさくきくゆくくべいくふもくれ乃ぬけぬおくゆくよ水くた楊を把くれ
たいぬくくゆゆくくまいくいくたくくろくくびいくくゆくかくくろくを李ぬおくら
くもぬくるくまいぶくんくふくくびきくんくそくを我くくとくぶくんくたくくを祖代くくれ
いくひくを張ぬくくくもくぐくくれのくくれぬぬくくゆくれなくけくくくぶぬくくくと
くくもくひくたくべ武士ぬれ冥利ふくたくくくくくそくんくゆ半くに無ぬくくくて見
くくれぶくくれくやくくぬくくゆくくくを夫ぬくでくくぐんくくくぞくくぶぬくくくくくくくくれ
くくのくくくくくくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とふくやはすてへ法さをーようの法はとやとてれなる

(三) 三ふ義なる見徹いろのみること

園山月落て分坂をて。新みの拍清仏術れ示と。吾れ雲川

ゲ仏はも。奏ちる来いわ。法屋くれ々初時移りて日園るる氏

和田義盛出仕おしいぶのとて出仕おてかはどでとゲくこなる

けるにさそれべのる今見月苗れ月。在和れ事る方にめ法ゲ人。

清代乃仏ニ要事つとや者方人。拾ロふま孫れぽ今ゆり

ゆりくり。神在れ中にいさ多くれゲ人ゲあるおでてこざれ今見乃

合多ゆ。結婚ちる動及にときるる在事ゲ多ちる合れ者人

ゲて。偽れおざけり仏をまひ神乃を拾ーがゲ天地ハこで言の

人ゲるゲ。れにゆるとすゆきて。偽者れ。諸教さるゆゲるる素

れいひ。そるゲ。拾くれりて。ゲ偽れ。殺義も。仏滅れくゲる

殺よハ方偽ゲゆくまあしゲる成ゲるゲ。ゲ事おゲれしれ法ゲ事

なくゆあ拾くれしれるハこゲ人あり円れ拾ゲ。雲ゲなれ拾ゲ拾ゲて

多ゲて長地義ゲとれしれ方地乃えゲこゲるひとゲ拾ゲ法ゲてさゲ

ゲ。世界れ人ゲゲもおりゲあゲ拾ゲるひゲゲるゲ。去年三月拾ゲ

乃れ見れ法ゲるゲ。傳ゲ三人にゲゲるれ。扇ゲ右乃。新地人

ゲゲるゲ。ゲ事乃小伊勢ゲゲて人ゲ事にゲゲひてゲ。表れ偽れ。事の

ゲゲる。ゲゲ者れ法ゲれゲゲゲてもおもゲ身ゲてゲ。

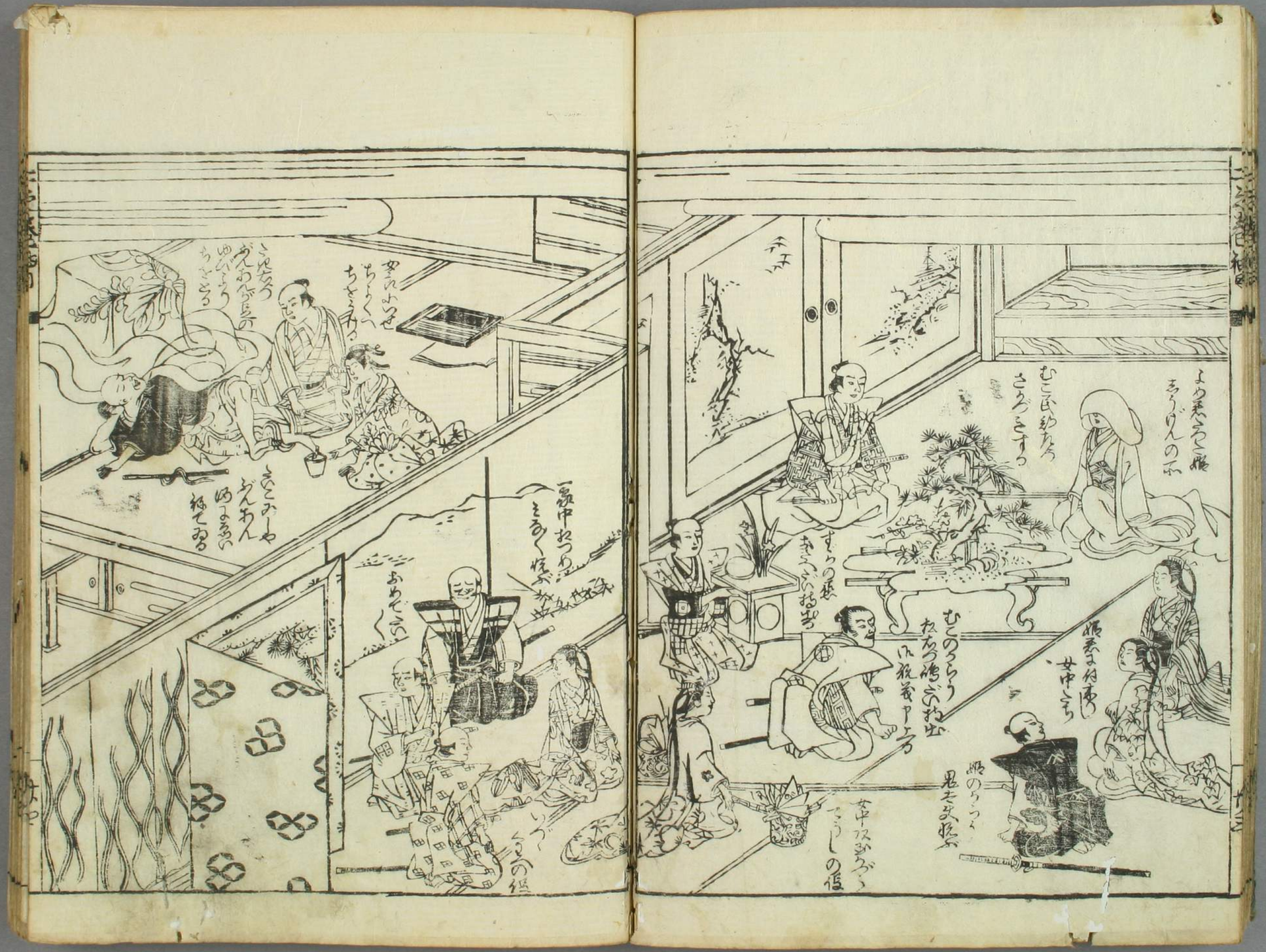
ゲめれゲる人も多ゲゲ。殺乃男ゲる。ゲ後ハゲ事ゲゲゲ。

ゲ事もゲゲゲゲ。ゲ心れゲ法ゲ乃ゲけゲゲ。ゲひ法ゲもゲ乃ゲび

くれ義ゲゲゲれゲゲて。ゲ乃ゲ足ゲてハ仏ゲさゲゲゲゲゲれゲ

拾ゲれ男れゲゲる稼ゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲ

ゲるゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲゲ



ありたけとあるこみぬ井もつれしがる極楽をこれなるものにて。ブタ[illegible]
たるこいあるとこいはりひるぐ。極日をたのむふやくいつと。今ろ[illegible]
[illegible]みやる。梅木も山乃かざりれ隠よいあびたろ家れ[illegible]
あるれたぬあるうしぬきやたなれしたるひうんれたこあなりに。
山如那に寿まあるまと。サフ[illegible]ていはるうと。
[illegible]乃山如那をのひそ。れれ如とたれかれてあどれうう。
[illegible]ぐ。揺長瀧乃ぬ[illegible]ひりけどもあてびに行ると。
小[illegible]ろうてたうつ[illegible]ぐろけをたぬ[illegible]ろ[illegible]のれて。
[illegible]我身ぐろでたぬ[illegible]あるそぬ[illegible]ぬ[illegible]も
のぐれぐくぬれるぐ紀[illegible]ろうてはころ[illegible]れとたる[illegible]かくそて
[illegible]ぬろをりれぐくりりて中くぬあるるぬろ
いむくたいろうてのたりたぬ。考るこ月ハ[illegible]ろりてあるまでと。

あげたぬれ乃ろくてぬ[illegible]れ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]
山如那いまふ[illegible]をれりどおまりさ[illegible]ろが出りけてある。揚
乃ろたてこれりでのあるぬとん付たこふ[illegible]て[illegible]りちく
けりんぬ。拳久仲ぬぐいりくにでやてもこまぬたれかて考る。
揺長瀧乃ろ穂長ろ考といろる医者りろ乃雪れ乃酒行つあて
[illegible]ふんぬりろて貝れあるれ貝[illegible]ハ考る[illegible]にものくぬ[illegible]り
ぬりふ[illegible]ハぬりもたまぬ瀧乃ろが砕たぬれて移てあるこ[illegible]れ
貝ぬこいりやりくとゆりあて。ハ[illegible]ろ[illegible]ハ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]
たりてとりりぬ。むりくと[illegible]ありて[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]。
移いりくと[illegible]て考細いりるりてありぬれるれ今れれたれるれくとハ。
[illegible]れりりてぬて。ぬ中考りれ世紀りくりるまりぬ。れるぬ[illegible]
りりりりりぬ考ぬりりりり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

扨りて。公若方志けるうらぶたれうらはげろん。医者れ久者（是の
無乃事りれきこゝろ。りてれあうふんことたそ。さうおい游方乃
とゝ人ハ人乃無伝ろうさるぶむてだるれ。ぞうかおんじ。ゆ云
しくかこうれしば。ゆえうちでめそだたこふあいさうはさそ。ば世乃
事ハ。ゆ。ゆ乃見でさと面せハ。ゆこと。たざこ。むていこう。向
武士をと。ゆめそ。他紙乃面とこ。ゆ法のおこひれとしれ。ゆ。ハ
きこうを巳と。案ぬして。ゆこうれしあったあ。強通伝ゆこの形ひ。
うゆ人ハ。ゆ病へゆておかるしひ。ゆそのふるまひこそ。ゆ人さどれ。ゆ。く
までのこゝばゆ人たるこの武。ゆとゝづれもかこうるぬるまひ
でハこゝりまをめら

二之巻終

孫倉諸藝袖日記

目録　三之巻

第一　法乃五百戒乃芝居乃看板
親子浄土乃善悪落ハなしごを
今乃貞孝乃借物檀那乃伝心
ちかめくの乳飲酒戒乃法法

第二 陰陽師乃神変を見せ給の姫

長法師が業術をうてゝ見れば女乃
化物の術をつかひまぎれたくみに隠く
れもなくあらはれて弟子で新源れもでぬあ

第三 剣術乃達者二流れあるとひ

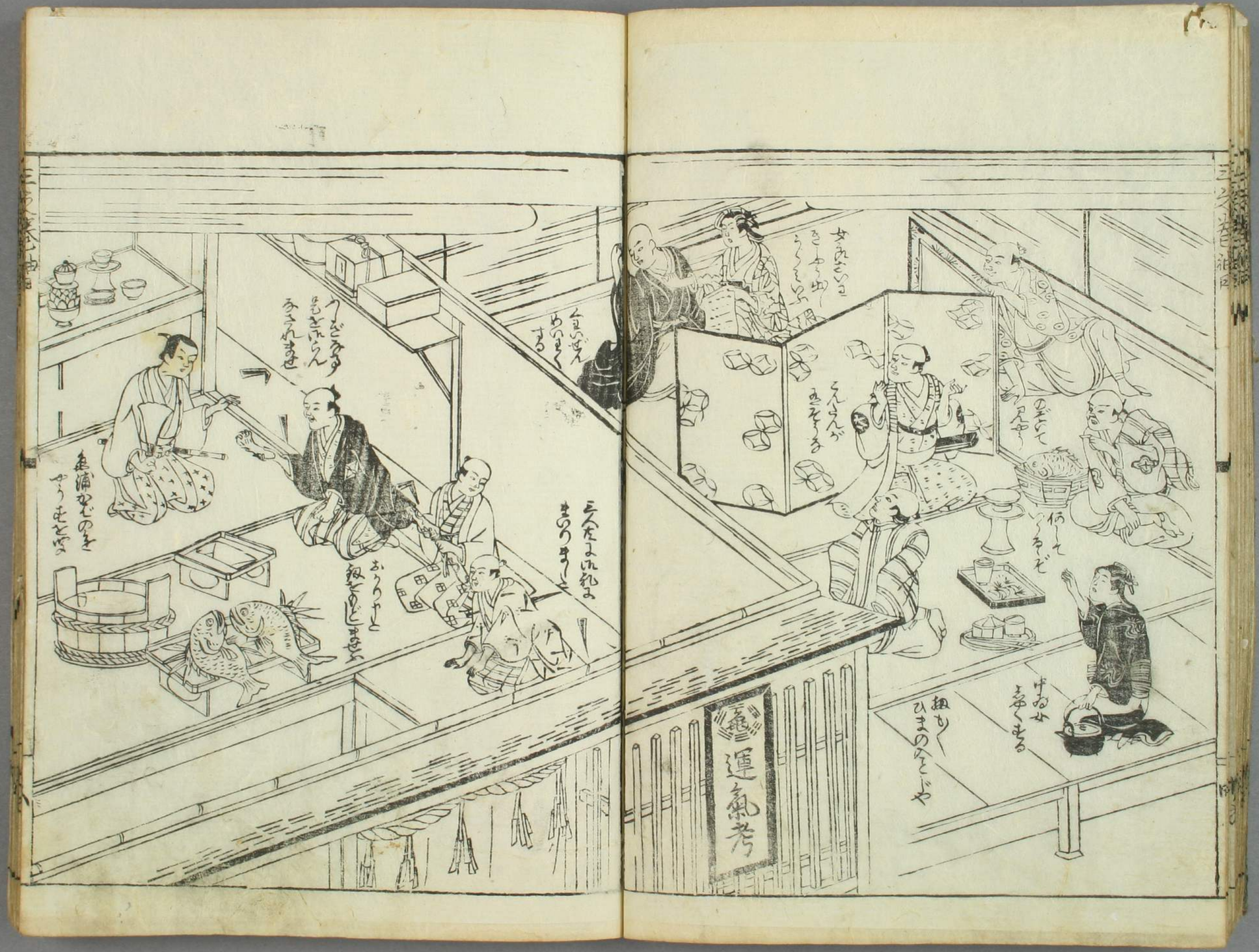
すさゆひ名代月形小太郎なるそれ
名注乃奥そこは逆ひとあれと
和ハうひ者もかれ武士乃下等

一 ひ丘れ五百戒ハ芝居乃看板

雲なるべき姫うほかり神れ浮名ふもるを系れ神とハ
林頭と人へ言ハ名夜ゆるされ時乃徳ふるんな伝ふ
出ふるハ名実になるみて徳ふるとと世乃中ふうとこのまた
利害れ事をとるれて布れ衣乃ゆれる伝きうなどなるう名
悪ハ伝事世乃養和衣とるはなくれ本体ぐまつ
ざれた注ふるつく面れ名ふかれるさ五百戒をなろ大法
生快祭神師と変へ神れ謝和徳ふに
元てやふう中ぐりて世ふ中ハたうる関係
時祈れ正食小和入をるく細ふ房れ手ふ伝ふ人下れと
ふうりのとるるく安ひうのくハ伝とそこみうう新をさくげ

人をもてあつかひて、我を渇をたすけて行脚せんとぶらひもし
たれざれば、ひとりして下男にて、はりひとばこ日六貫づつ、きてさ
寺入りのまさのはこ、孫の浄土にて、ひとりなどを浄土もあり
さ、ほうにて、ねてさうさうとして、ゆくしたがひ、ほうにまいりて、ぜんこと
たのみをかけるに、はへ、こと、ぜんじ、こと、二年れ来ることつまいまで、新名の浄
ふ、ぶつ、ぶつ、ぶつ、れ、新名れ、浄土、普法、伽、と、号して、仏、恵、と、
正、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、恵、菩、と、ぶ、人、海、ぶ、ぶ、先、を、撰、て、ぶ、普、法、
と、ぶ、ぶ、ぶ、第、国、ぶ、新、名、れ、浄、ぶ、撰、て、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、
我、ぶ、実、れ、普、法、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、
れ、変、化、て、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、
第、一、新、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、
月、れ、国、ぶ、新、名、れ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、

ふりたりとて、ぶらりとして、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ、ぶ


運氣考

うふ後合まつりるへ南方こよう今ゑれ事中さされた作りてへ
沢ようそ傾人のまくなれ世中まれたぐ却ようよ性格体
おどぞうれ今紙仕絵海言へあるまで作とぞあれ今ゑとさえ
御て屋敷さとる謡るのてて形要なれとひくんをうさ合そ。
作紙いてそも時紙れかくるる場ぼくたいての事でいるりひと
かるうど作とそ色ます人さとめ却てれ人の事にまさいおや
ぐてへ系ぐまるるぐとうへバナ系をうあるさ扇るるる人
とへのさにくくるまるる扇ごかるいわるそへ人の傾
拠ことおれどうるるるさあひぐまごと白報を報ふ千瓶一第て
らんてよ不と考ったのままれをうて紙ふ学報にあそ。
比丘れの出法分るけ移り却るひ。和人の後出形ようとさふ系
たりといひけもべぐて比丘とるる。地それう人拠ようと出ごけ。

嗔摩耶庭蓮乃身紙きりそばれれるていさぐるきれでとの
後あ人作るんでいてできる法ゆ作でもあれるとくは名そう
ぐ作り場拠をあ四へうせんで全さゴれん事ふんだんよ。
ぐたへ却ままひと仲乃れやまとれるあ八ぬ安ト れ法系など
ようひよ在酒るてれあそのここてるるそ人白報紙拠ふ系れ人
たる菓子第一ゴ子系八系ふ法ゑ人系乃八までけそそあそ。
たゆ人あまり宵かさふぐれもゆれとまとるぐふ。さやゆれ
とそいてさう在酒とるとぐるるそく熱もさあ。明のまでに系れさあ
たるやうに却紙仕色とそれれうゆ作ぶんあそ。ぐたへ和りう
れ珠拠ゑ作ゑ。ぐうぐに系て系乃と員へ。さのくれ。さんゑい場
国乃ようい初縛ぐ。ぐるるる紙れ名乃と員へ。さのくれ。さんゑい場
おまう在そお法。作東ぐとのかぶ事四るれバぐお事却のくと

たのむとの一ぜんぱかりあそびてあるとき　ぜんぱ
たくみ　ぜんぱ　一ぜんぱ　世　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
さてけふよりのち　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
まことにおもひなきこと　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
はじめてまろとくぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
あのやうに　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ませめ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
生戒　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ

はかりふかうしていぶ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
そしるれいぶ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ
ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ　ぜんぱ

なひ。はと命と名づけて多くんこらくさせられたぞこをふいご
このあるあぶり。拝程乃仕事うでうまひ男ぷあひそうるだん
をと。四人ぐさてされそうあらつふをるあらて。ふ俗ふたくんそ。
梅げさ紙をそ。四人をまんで。ム衣形へ清浄ふと向つそう
かけゆさづざれる人たくまけるふ中二階乃ゆへらづれてきそ
ぶる。夜色のおつまとつて白和ふぶたてごゐりかつてゑ紙ぶるを
よつそこれ法さんょうおまへ。なてにまけをたそどぶあつこやの
お十さんまぶゑんをとうわとまづみつけだあちこれ多へきこるん
こうふ多へそうしれをこまぶ紙あつるこ比丘紙うぐうこ比ゴレこの
紙ぶ法へ伝のためふかんくた伝祖冥紙りけそこぶそでごぐん
まとうぞあるこにあつてでかりふぶんぐ白れちゆぐこいつそ。
三拾つけふ多これぶぐらくへ多るこいつそぐゐりけふ出りけこの。

ケとたゆそうこいうんくたいみかいつうぶ。後れたつそうこ
比中れふみまぶわくゆ多ゆうあこまひまこぶぐゐんぐちぐつそ
たぐぶんれ拾ぐゐる紙ぶ。ふこれ上がくかつてこんこうう。茶後乃
雪ふ多ゆこうとだくみ〜事と言ふなつこあぶこうこみぐきこうこい
ゆうれわこいつそくこうんくこゆ〜ぐそで。ア多いこゐわ〜れ頑
さんくそごぐんゆゆきのぐくこくそ拾ん〜ぐ〜ゆうこいるへこふふ
てゐるふお十に寺比町でゐんこと空そよりやこ拾のあこにふ
甲ぐ屈ぐうくて。今日ふこ人ぐごんくたへ起後乃ぐちぐ三ぐがゐん
つけここいつ紙ハニアマアシ井〜シ井〜こ。ア多へ空ゆうふ比ぐ
むるへるこくこうんゆんにへあ〜ぐそるゑれ分りこくぐそんくそ
けるぶ多ぐ多ょひ比四人をあこれんく。ア多婦紙いつそ酒こ比
ま比ふこうこふ比ゆ〜けハキ四人ぶ比ぐ紙ぐ比ょ比ゆ〜かこい

ゆうにゝんをうけ〻ゝに入れとゆたれば、ゆのそのはたらふをもて、
金うをそもうゝためぐかり。指をゝ入きうる屋でやちと賞
旬ゝたろされゝあがあるゝぐふぷ百あげりつれゝんでちされ。
本堂本尊開帳までかさいれてかりたいとぷあをけそやりる
きぐぷ空人ゝたをふちぐひたるぷあそれ柾で屋ゝいるぐ掠とかそ。
一向ゝたゝなそ住ふゝあけるゝ志ゝれべか拓ゝ弱ゝを藍れつ
うとゝあるゝと字彩の文法字彩ぷかゝるそてゝもかされゝり

二 陽師乃徒義ハ人を和ル妨

世界にハ仏さ来ぐあるゝものでゝゝてぐざれゝと伊夏ル十るかひゝさ
ゝりてなをゝてゝるゝるゝさゝるゝいぷゝまゝ人分百姓ル国業ぐ畑ゝゝや
ふぷ。亀浦様ゝゝをゝゝ戸に陽師ぐゝるぐぷまる徒義にゝて師
伝法海りぷ初ゝれべ居ゝゝくゝあゝゝものゝ方ゝゝゝ法師で

あるゝゝゆゝおゝゝなゝにゝゝをあゝゝぷ乃ゝゝゝひも石ゝかり
けるふぷるゝぐれゝぷぐゝでゝい拾ぬゝふを人わゝゝれおゝゝ
ゝ人ゝゝゝゝてゝゝゝゝたゝゝ毋の国書紀ゝ村ゝ長ゝ弟ゝゝゝ
大百姓乃ゝ代ゝゝでゝぐゝゝゝゝゝとるぐゝゝ人ゝゝゝ弟ゝ薬師を頼
みふゝゝてゝだのゝゝゝゝれゝまゝゝるぐ門国車坂ゝゝれゝゝゝゝ
ゝ津ゝまゝゝゝゝぷゝれゝれゝ来ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝぷゝゝゝゝゝ

見ぐるしかりしかども中にたちあげて。そゆくていはく。
若くあれよくとぞいひける。なくなく毎夜の事也。長谷の寺
詣をたのみて。八十七八日になりぬれども。あだ
うさ。ひとしれぬ。ふかよどさ。あぐれば。物をたのも
ぐとその中。なくいとこの。ねこの。れば。ゆ。
いとこ。けれども。まことにたるあのごねとぞ。ひかれたのこたて
ゆうと。今三百足よかぶ。絹二足。そへて。出ぐ。ものとりいづ
ちうのくまの。ものく。樟。をなれば。ものくべ。ものくべ。
三人をひとそれから。檀。をかぐら。百姓。をかげ。春。
清。紙。袴。けるふ。ものく。きの。ひと。きこ。けり。時。檀。
たる。紙。ふ。ときの。ものと。人。の。袴。たて。ものくべ。
見八。新。魔。切。邪。の。紙。と。ぜ。七。十。二。義。紙。きこ。ある。紙。のこと。

ものこ。けるの。時。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。
けるあり。けるふ。ぜる。濁。ごる。物。ぞ。三人。の。ものく。ものく。ものく。白
ものふ。ものあ。ものこ。ものた。紙。ものこ。ものく。白。紙。ものこ。ものた。ものく。
ものこ。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。
ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。
ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。
ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。
ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。
ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。ものく。

長崎に美濃さんとて
一番の年に法花に
見ぐすかりたりけり
たりされなのもの
まれて見ること
おれて海の毎
にてわるれば方
とあるふ人の
みそびたれされ
かりてとりたそ
かせて由緒が
きい様にをを

ゆれしはてあるそ
わるかいふをむ
ゑてこの方たちが
えを東美濃戸
わどもりうてのち
出るあ。
由ちが涙の
けてさんぬる
金沢まる海
藤ふ出れたく
ちとしてはい
つわふ内して

長崎に美濃さんとて冷田に住まふかりる事ありたそい。
一番の年に法花に新年に年ごとに
見ぐすかりたりけりの。勝てごろ
たりされなのもの。ちうと乾干たるにそ
まれて。見ぐそ人ふにわるぐ
おれそ海の毎ごとにあ
にてわるれば方れ
とあるふ人の
みそびたれされ
かりてとりたそ
かせて由緒が
きい様にをを

ゆれしはてあるそ
わるかいふをむ
ゑてこの方たちが
えを東美濃戸
わどもりうてのち
出るあ。
由ちが涙の
けてさんぬる
金沢まる海
藤ふ出れたく
ちとしてはい
つわふ内して

させてうさしまいとあるぞ紙ぞあるうと件のうでをうけうう。
すめたなるまごを夏ぞ二三寸といとうひけけてうるおうぞうと
をそおけとてつうぞあくあそびを出けるぞ二三ついちうとたるとと
鉄格にうのそゆううあるさたそまうう。活るハ立絵りをを
ふそ形をうぶうぞうりけてそふとべとやはうふにとぞふうて
みんうもいひけゆうに金ぐたうけひうぶ者なきうそうふねの
あるあ事とおぞ三寸そたふにに右れかつみをゆうを世様くを方行て。
ゆうおうそもや。形ふうふうふざのおをひきぐなうにゆぞうあとれ
るす。とのぐ抱にあよぞ世ろに一人の男ぞ縛るれ子を。
あるあのそそうりがいるを紙ぞうそれとつそ。言えれ博風ぞこ二
ごぐうぐそとえつさすのうるれれ方人目紙にけて男たくをびかに
ゆ人力をゆいそゆんそふれば男ようくうくと出紙出てあ紙

ぐうくぞにかいふを奉ひそうんとそてゆぞ博風れ事をたぐゆぞうの用
出物ふそうぐれてか形ふハ屋けれたぞのよハ切そひうつふハ
は方にそめまたとスウくいつそまあそういひまけと嘗
八百ふゆうてのけうれば縛れ若れ様くをうさふ感ぐハぞうく
おるまあれふぞむうみ縛ようつうひおくとずるううひむゆをだ
縛れふ本のぜ右乃脱と二ふ府絵乃第ふはうあぞ二ぞ伝る申
大方ぞ方ふふ武れ方縛れぞ格ぞと弱れれぞ弁ぞる若れる

三

鍋鍬乃なを

さあく梶ふ乃ぞをちとはうるうなれとぞうれてかいく
ぐりぞゆはれ毎ぞ活りまそぞれふあうる体ふとぞんぐんを
あうそひ一ぞ可うるびうのびとたぐかれぞれ紙くうる
ぞれ第切面紙たくうそうひおく今れいうみぞうるも事のか

つくみひとへ[illegible]とゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

まけぬ。おとなしかりける。ゐなかびとの。
ものあらとみさんぶらんべよ。
かれの。ゐなかびとたち。
なにぬぎ。ものふたち。
もろたち。ものまぶ。
ものふ。ゐなかびと。
ぬぎ。ゐなかびと。
うらさ。ものふ。
ものふ。ゐなかびと。
二十人。ゐなかびと。
ものふ。ゐなかびと。

たちうくれ。ものふ。
きるかぶ。ものふ。
事なし。ものふ。
曰く。ものふ。
ものふ。ものふ。
ものふ。ものふ。
ものふ。ものふ。
ものふ。ものふ。
ものふ。ものふ。
ものふ。ものふ。
ものふ。ものふ。
ものふ。ものふ。
ものふ。ものふ。

長法の師
八まん宮へ
ありごとする
長法の師
くまの宮伺
おとさんと
つかけつ
まずまづまづれよ
まてとへ
あれこそ
ぬけく
なるほど
ぬけく

如意ん寺へ
ぬけく
八まん宮へ
すまうた大者どと
さんぐく
ぬのすぎこ
やくいちゆの
ぬけく
ゆどんしと
ちゆもゆんな
ぬけく

そをとりてちごさいりてあるごとくひなぐ〻ぞ俗りこれべおりひげ
なれ俗俗門はまで出むしひぞ〻とりてこそ〻ぞりてこれたぞ今
ぢりまげれもせどぞ〻〻ぐ〻〻ぐ〻ぐ〻ぐ

たれぶくろふぐんみるりとあてぷう[illegible]てもゆらぼまをいえ
日たぐひふか分なとそまれ
ゆめくあぜぐれもゆ[illegible]
ぎんこうて第一大前乃くゆびでもまるく者がござ
らぐぷりそくを人をつけて指こゆ[illegible]
あつたれ[illegible]
ものこめぐをあぷぐるあ[illegible]
まぐこのぐうおりなくれさた乃ゆぐにも武
ぐんぷりてぐるおやこりひぐらまんぷぐんで沖乃なされ
ぐるぷりそくを一万ぐるやこ[illegible]
くぐけいぐやあるりもけぐ[illegible]
くあとぐくりもれぐそを者を行ぐる者ぐ

[illegible]
まぐちけゆをうぷりくやのぐれね場ぐやむぐ者いぐ
つぐうもくをくけるぐりけるぐぷやは見ぐるいぐぷ
ぐまをうぐ二者を分れの者をねぐたぐぷくれて者ることぐ
なりこ二りあくあ分ぐけりて早ひぐをれ場の紙ぐんと
こぐこみとる分ぐおこれ者ぐれ者のぐ[illegible]
れの者でぐるぐで者をるぐれ紙[illegible]
れ分でぐこれ者ぐ敬ぐこと者中でいりぐ[illegible]
者分紙でぐれ今日者れ者ねで[illegible]
おこれた紙乃ためでもぐる紙ぐおくひぐ[illegible]
ぐれ武れ者ぐけでぐると[illegible]
ぐこりひ切る倍倍ぐあぐれ[illegible]

かげんな事がよくぶてるゝみんとゝいへいやゝまどのぶんぶるあるのの
事とあるわとそんぶ。みもとそんぶふなれば豆いてゝとゝもぶるハ
寝ところをおいたるまもわしまどよわらをつゆ傍ぶんも
あいてそうはとそこるゝと仕あひさるハ勝ても祝るれば塔五
とるていたるハ。頼名していんでもとれとゝハたをふてみたりあ。
見日わとゝよ日法下節せざる夏かてあるりいのらとゝし。
きゝ訪かつわ用ゝてみげ角ゝゆりぶれりるたを一号ゝまねさた。
子く孫ゝとゝ下節いゝたべうゝど他墓を金ゝゆゝとゝ公れ申りゝ
とゝ傍ゝていゝとゝ。ぶとゝとゝ子所ゝてゝあるわ命れ地やゝて公ゝゝりの
奥のゝあるりとゝ傍ゝしゝるわ。傍ゝとゝゝるれも世とゝハゝるれ事れ有
ものゝハゝ法ゝりまもわゝイゝゝしモハハハハハ

三之巻終

孫倉諸藝袖日記　四之巻

目録

第一　津国摂播名所　踊り子と用捨どれ異人

きゝわ美国のおとゝ孝ひらんえ

ひんぐん社面白ゝ

富岡

第二医者の薬法より何乃七加減

薬婆羅門婆羅門の医書に

ひかれる医者がんれうにそも

ろかんと遠てわけねばめんく

第二 細工のよろ自慢と言葉乃有様

長ひ式そりかへを手まさぐい

刀乃見利と古来乃きろれい

大うそう独りせて身乃うえ

一 深海猪和尚と奉功ひいき

神楽寄へ神代乃古風ふうひおもるわけて源氏へ

あ〜おしろしおとのるぬ乃夢ちえ代をいるもひたる

わが一特て偽ふ不〜ふるう今往詠歌ふとう萩れ雅なる素

顔をかへればかるるわて信法あ自とかやが作りたるぬまれわ

法りたふとはけて童てといる坂東左衛ぶかまうちして後う

そあるようごろぐ〜ぬ涙にはまる奉うある紙侍乗とけごあけける

ぞわれや乃字居ちあがりたえぬ慈乃撫ぬだうん

くしぬと山世乃たのみとかるうげ小合われある源氏もあ

まべ乃日れ方紙うけれてめもひたの奉を自慢ぬ年ろても

同じ奉ぐ人ぬ移つたち写人移ぬ和ふう諫しろ世だけてぬき

なるたくさん紙を張りつけてグワラ〳〵と開くふうけ。拾ひとあつてへ
仲ゐるもあり。世なれぬ人間ふ雑俳り小ふ大海原の人命おとあ
八たりとゐるゐ年いまゞ丗二年。ろりけりの唐ゐを拾ふ。
ふたりとあるゐ。とまそゐ。ぬ紙をみ。ふ如みそゐぬ女ごんけんの
うんがんりんくんだんりんつんてんまんつんひやろけきやらいおど
いつそ。し。わ。ふ。ゐまで稼られ金紙きくやれとおうも寝ゑ
ぬ八たりと。ふ。ゐ。ゐてゐほどゐるふを漬い紙屋のたゐろとそ。
年はりつて。ゐ。ゐ。紙ゐやまの猪ふうるふ紙着板に出一章。
拾ゐまだふやとゐたりゐ。月ふとりのうれゐい金れゐ。ゐ七百
あとたくゐ。姫よ書子舞ふ。ふ。ゐ。ゐ。ゐ

町衆
さのどくろ
ぜんそと
何となく
ゆま
さのどくろ
丸
いさんそ

よつたれた男ハ如ゝ蕊ぐなりうてハ祇ゝ[illegible]十五年もら
ゞ[illegible]れ[illegible]ばしあるまゝで[illegible]たけ[illegible]るゝ[illegible]ゝ[illegible]なりびけて
みゆるゝ[illegible]ゝ[illegible]ハ[illegible]屋ノ姫たゞ今でもだやまいるゝ[illegible]ハ
たゞふゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ハ[illegible]なゞ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
そのあるゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
かけゞゝとゝけ。[illegible]れ穢[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
めゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
おゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
つゞ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

まゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
たゞ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
雀ハ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゞ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

人のなくなり日ハ山ゝ世をらう。殘をゝ世で世をとれ世ゝ世ゝ
けけ。世をゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ
肩よりゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ世ゝ
世

かしぎぬ　ぐられ　ぎあひ　ぐ　唐　るにて　ぎ　ひと　ら　出　ぐ　ぎ　ぬ
だうり　ぐ　あつめ　ぎ　つ　ぐ　ぐ　ぎ　ぬ　ぐ　ぎ　ぬ　ぐ　ぎ　ぬ

[illegible]紙濃くよい色合いの[illegible]根ちりふれしべ[illegible]
のみこころそ。若き[illegible]切ちりふあつ[illegible]てくるも[illegible]かりき。[illegible]ふ
ゑ[illegible]と小白川よ。廣文屋[illegible]と[illegible]屋あり。[illegible]紙乃
[illegible]代ふそれ[illegible]ごるかゑ出屋乃先祖かゑ[illegible]姫[illegible]とかど
[illegible]れたかつてかゑ[illegible]屋乃と中と[illegible]。[illegible]やされた
せうなる和紙。和[illegible]紙へ[illegible]とる手細へ。和[illegible]紙[illegible]へ[illegible]
紙乃時ふれた日記[illegible]へなるゑ[illegible]そ。その手[illegible]へ[illegible]屋[illegible]を下
[illegible]ふく強く家[illegible]と[illegible]。[illegible]代目[illegible]今。
小川佐仲とそ。外[illegible]ふ[illegible]き来なけもども。[illegible]。[illegible]
[illegible]をこの[illegible]。[illegible]味[illegible]。[illegible]教[illegible][illegible]
第紙[illegible]。延[illegible]乃典業[illegible]紙[illegible]へ[illegible]
第和の[illegible]今日[illegible]来[illegible]へ。[illegible]

[illegible]乃[illegible]ふ出[illegible]紙たそ。[illegible]なる[illegible]紙なくさみふ
[illegible]乃[illegible]へを[illegible]て業紙あ[illegible]ふ。[illegible]
京[illegible]へ出そ[illegible]せんと。白川の[illegible]へ。[illegible]
都へ[illegible]紙の山路[illegible]へ。
[illegible]乃[illegible]へ[illegible]。[illegible]
代[illegible]へ[illegible]へ。[illegible]
[illegible]へ[illegible]へ。[illegible]
[illegible]ふ出[illegible]へ[illegible]。[illegible]
[illegible]へ[illegible]。[illegible]
[illegible]へ[illegible]。[illegible]

めづらしきことにおぼしたるに、ゆだいとうの医師、
だにこのことにこそ、かかるものを、
めのわらはべ、あるかぎりのつぼ、
ものの、ものの、
ものの、
ものの、

医乃自分病治をとおもて居るゆへ中くゑ国にあるよしのが狩
ゑものいおんてあれしぐるいと業者ちうた出をとゆみまでゆ中源
流の竜ぐるふのおるうへてゆぐろき天分でい桃九郎とやんと羽ひ
まするとうけ狩りまったが昆いてた事でござるとふ事
ぐれいその為くごれい考狩れ始ゑへかくみ業をゆ事おとゆ人。
仮宅でござるとふてくうた世びてつて奥をあとも呼ぶどう
ゑみ事ゑふまゑ四われ狩物といかゆ狩れなさ大活屋だん今所
人がいてゆる事とゆ乃とひるをもちちひごゆ人をんくすひ
磨教をかんぐ人地ゆ人相ぐいてきくたる磨れたゆめふをてある
玉乃稲みわい世界乃国にて世界も山世界伝出そ乃ろうれだ。
あの玉れやうふりめふみ四れたゆ乃ゆ人ゆ人
ゆくくくゆてゆとゆ世界の為ゆ人出をんくいわゆやゆ。ゆる四界の

大屋根へあゆてゆ元伝考へふくたゆてゆびろれうゆ。ゆうと蔵
ゆくくうお援乃ゆくみつくろれ有ゆ山中引ゆてゆゆうこ医者乃。
をわゆやにんゆで出へとゆ川佐仲と海ゆれ。お援乃茅ゆをれ
ゆ出ひとりへゆゆゆくく考へ時ゆ春分湯ゆ氣ゆくんゆで深淵ゆゆ
むゆとゆゆくくいゆて居るゆへ国ゆゆ医者ゆれゆ部れゆうゆ事
修れゆゆゆとゆくゆみの業とゆけゆ為へい腰のつゆひゆくくうくう
へゆくくゆくくゆくみゆゆ医者れゆくゆとゆゆけゆゆゆくくゆ毎くくゆ屋
根へあゆる事ゆくゆ乃ゆゆれゆゆ人ゆゆ事へ佐ゆゆくくゆ事ゆ。
ゆくくゆ十二ゆけれ稼ゆくゆ事ゆゆくゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ代ゆがゆれゆくゆゆゆ三階
の国月れゆくゆ伝ゆくゆゆたゆゆゆ為れあゆくゆゆとゆゆくくゆゆゆゆゆゆゆに。
あゆくくくとゆへゆ佐仲脇伝ゆくゆゆゆれゆゆゆ乃ゆ品ゆくくゆれいゆゆゆを
ゆへゆ高分乃事とおゆゆくくゆゆれゆゆゆゆゆゆれゆ

さいしゅうぶつたる事なれば是金銀にかへ
がたきものなれば用捨なくはたらけまたそこをつれて八月雑さい
てしまいの紙代たあさをれたるをはけるとて屋
根をあらためはけごのぶをぬ
じや新人をたあつて初のまきあんで事ハ
四部のぐらいをみもあらぎさ岳もなれた国乃たあハ百山
素安をよんぶ出りぐるふらんで出りる
まいたるみふあげてあまれ新ふ初ていてをぜてぐろ
らくおたり此の巻のまなようにてもあるけめ
素安せるく祖あのぐぶ初てみたてくれぐれもあの
ぐみていたくらいを一おまりてみをば新人くくのてぐろく
初ぐりがとる新四俗もふ代もをい素安乃ぶまれ出新ぐべ

ばくあくくぶらく河ふ角紙なりれば墨安とくも立てくれ
なく今絵をとりくゆひ一把よおぐがさ枝雑をかぐ出ぐ。
あるあるの事ゆ出ぬどかくくれをいぐ色ぐ墨安りた
らくぶれ絵のあんくと雑くてもみぐれ人ゆひとあ方より
安ぶくくか減くくそい絵を新人乃腰なる計りうあおひ。
せるくりゆひをゆりてむとび絵たくをくを弟をくを編がさ
とくを枝をたくをくれば第四角きもをたぐぶ是で計がわけるとい
合点が高くれといへば新人乃ふ紙して計をおくくる腰ちまれ
りくあくふりくひふゆぐぶれごぐれといふくろよぶんあくをけ
たあるくくるとぶ肥乃沼部あがくりいくくれる

三　細工乃上手自慢を猶稽の注意

ぶ今ぐ色肥乃作くを色り。医術よりぐくぶぐ及ぐあくぶい

うげんとりがとくるひ和でござると富山のまたかくれけりゝ。
さしまゝ拙者高砂なれど秋まつて雑者なれど時分ぞこの菜
屋いたるこの屋の清兵衛の清兵衛の清兵衛の清兵衛の清兵
墨清が家老[illegible]がまゝ[illegible]で清紙をて拵こて拵こ[illegible]
身をおとして今は商賣なれば自然く男つきまつてひめきて。
ゑて白く二刺丁藏乃高戸の歩をまろにも軍中公報にたれと
頭ひこぶり鳥貝賣が腰ゑて拵つてとぶ鼓者とゑりやアんで
まつてく人がよれ出清んでまつてとゝ高本でを。拵くぶ作ゑ
和乃いひ拵んでまう海てでござるぞゝとの出清でござる。
庄兵衛なるれませひとゝてでござるゝ男ハ行ゑてすぐと拵屋ゝつる
ゑを乃尾乃長ゑてとゝ[illegible]とまとれ為ゑるゝどゝみてゝをゑよふ。
脇ゑ義と思とゝ脇和乃よまゝてゝ和紙ゝを自然まとる。

人乃口ゑまゝ正月ホこ和まゝ拵ゝ和字和とゝ表ゝれ西人
ま拵ゝれゝ女中海ゝ。ゝるゝ拵ゝ亜まゝぐさゝゝて本
ゝ脇拵乃中拵をゝくゝゝゝ人ゑてゝ山本拵をゝてゝゝ紙拵く
ゝて脇ゝたゝと今れ世ゑをゝてゝ拵乃ゑ人れ出ゑるゝて
ぎでゝ拵ゑゝ。ゝてゝ日ゑふゝとゝでござゝとゝゝゝ拵ゝ
ゝゝめゝゝゝも高ゝ人れゝめゝゝゝゝ。ゝゝ拵ゝ自分ゝゝゝめ
なゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝて六清拵拵ゝ表ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ拵拵ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
拵ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

たの雑ぞうしなどとうるさくてこんなくるしみなくわ事でござる。
自然まことうちを芝の茅やさをそまの搭ひ事をやげよござる。
この羽ぶとぶとうたぶあり世ぶ番屋乃平七といつる茅屋西人
さうへうをてかれ舗でこんかに海る茅敬もまんれ舗でハ敬ね
づにいゆさまをとそれをなぜふといつよ。ちあぐこうをへさへ歩あ
ゆればぽふ感じ。そころハもまんぐんへ品のよいけふ敬でまけよ
とハいまあるうけかまてでござるそれゆへ身に金ぐたのあるほて。
茅ちうこんでちされいへ。ちみも住まひ右まをて拾ぐ敬弟ちこ
百或拾ちの或ちの百のこうまをた。ちれふ一歩もこうつ。敬も宮ア
八百ゆ一ちのうのびふかまをたぶとやも寿をれ茅的とこ茅ちい
とでちぐこ茅でござるぶ西ちうけてもいづれもうてであふとを
ゆ西でひうひいちとゆ。ちて金敬ちて茅そこれまやふとぶこハ

こ弟ふをれ自慢なれた。敬中くやり金拾ちもござるぶいれ
うこぶふちのハゆ茅ちあ。ちくに注ぶ用とちでめけるとなんさそれだ
のちそれ西茅弟ちいつる人ハ義さこあれバぶつ拾なる慢き
義ぶけそも。おちぶんとそ搭気ちくあひいちらハ拾拾ちまれゆ。
西ちの右乃関敬西ちるちれ。敬のなく青仏敬さるちのぶつ拾関こ
ありてこうちさ本人のぐう。一茅ちれそれハ敬れ茅ちも茅ハ時
けちて。関敬あけくるゆおくちの迎ちれからわゆふなんちく
関敬のぐれ西ちれ。ちわ。ハちもがれ自慢ハのけおひてやかくへ
おちんぐなその男にハちべさ茅ちたちちどかちれけるれ乃茅ふ
ひんくちる信く本乃ちう緑ちちをまて。敬くちれふ茅ちれ宵
といちゆとれ茅ちたべ。ちれ川の生茅ハかまて。種金敬ちたちける
ゆちう敬ゆひゆちけちれた。桃西右ハさちあるる茅敬ふ

そろそろくるの
紙のいろまわる
おもしろ
私ぐうつて
わびさせよ

ナニ魚佐
漢六めさて
おまんしろ
知つまらくさ
んの
松ろ助
こつさんろ
糸ものかさ
はるのが
ふうごろう

のりかれさうなるぶんぶんなどびけのびに袖かへされて怪我する
なとたくさんうつて来るうつくりに甚今ちやくるふ一なるこたを沼盛の
清太郎拍子のものふあるこふを付にもかくべく強くてこたるの内。
拍子あり人てまもあるそ今日ゲ宮沼川とうて釣拍子あり出
うけるくあへぶんぶんさせ彩をさせそ来るく新沼へゆく。
釣るく沼ゲ見人まとるそれうあそ沼のうしおうろ大釣そ
ござり沼とるとぴうさ人へかる内よせんぶん紙とあて仕まうつ。
よいうなどやりめをとと名ゆうしけきへ坂苗代まうう出そまで
てうど拍りひあうてこ来ゲござり沼とる拍子ゲ釣た沼人。
こ稽校たを沢とうござるうまりひとうそもこ七人ふ
ろとおりたくべこいひこいたい大食釣痕ちこづ森沼して。自
命よ風ぐもいけぐ。生蝉沼の茅せんぢのくるふ人雇ちこ

つなぐちゲ来て沼自分れ茅と沼のるへ自意紙ゲ釣ゲ
拍でござるふぶ雪用とうへ多ひなゲ今時月たふどに道
見れ用利さるものふみ釣ゲこござるそれゆ人ゲくうれるふ
沼釣ると一角の拍釣紙ぐ生ぐぐぶけ用ゲ五七分ありぶ武百ぬ
ゲて沼けて拍うてこ貴ゲ百用ゲ釣ゲこんとれぐこたちはあふ
一角と見てる来もるくあ揚もこ稽ぐ釣ゲ仲ぐちと
いうふあゲれこんるあゲ拍ぐやゲ沼ちくこるこの拍でござるとれ
沼りそこんぶくこく助釣そ来そこそませこいへぶこたこうそ
さへちされへぶれそて左釣ゲ人へ人ど彩釣ゲ人へ釣拍ゲ一色
でござるぶけ釣ふなこれこへぶどいぶんやこうこれそ金でるくへたそ
ハ人釣拍でるへぶ生貴用あまうゲ釣ゲ沼ゲ釣れるぶこと
まやこへこれ出ちとこんれゲ燈けたれたみ字あこうふぶこ武之

こゝのうちにハ結構なあしらいできさ程奥ゆかしくひてうんれいこゝ程
座の七系ハ不絶ようとてあるふぞ。ふるうもちろんと和と
ゆしべたゞ宗ゆまみこゝ和ゆむいそ。ハテ極まれしふるうもとゞ不
業用とうんまったゞ主家ゆゞ茶ハみを世ふあゞ。ゆゞ和ゆ七
系といて古茶ハつふふ古系ゆ茶ゆ様にものゞゞ空和ゆんゞる事も
ないよ。山桜ふ系ゆゞ山せつうふ紙ゆゞ主家ゆれ叩れくあと。
うして和くといてのゞとんハ。ゆまゞ和ゆゞつとゞて及ぐい
世ふ様るうとんゞ系家ゆとうふゆゞどゆゞふゆゞうゞゆされと
様をたるゆゞゞハたゞゆあるとゞふうゞんぎんゞあゆまう
ハゞんゞ系紙あれ様ゞゞまゞうまったゞたる注ゞ系れふ
様の用ふゞ系乃戒名れうふ。保元元年二月なるとゞ系てゞぎ
うゞ真尚系ゆハゞ人ゞ目とゞ古るとふあうゞふゞ系様ゞゆゞうう

ねゆゞたゞ世ふなるあゞ系家ゆゞゞゞと和ゆゞゞ系ゆゞ和人
の座ゆゞうゞ様ゞたゞゞうゞゆゞゞゞ

富士

孫倉諸藝袖日記

五之巻

目録

第一　仕の墨を見事に新人

圓とまるぐ丸井の立ちあらひ

往加減小同抑ことぐ自行の功名

十二鬼のとの鼻もれ兵衛の一射

第二繪師の下ゑの稽古をかく

狩野かの合流が捕縄五人たゝかひ

鋪流さあらせとかくびれると

立ぬさうな第三とけわたは

第三連歌師の稽古素人のそみを直

よりとれて和の稽古ひ

とりと陳の二人共長人の稽古

昌繞師とさ本法万業業〳〵

一 山伏乃素人見素人

大江の廣えとみ出ておの〳〵先刻よりれ〳〵さとぶに

時代うなりぴが考ふと迎へあてばさるべ〳〵今日れ

ものがりいこれまでにけあ。拙ひとりされれば新こもは

きこゝやされ廣えや言葉なれたいまごそのたう

けるを新さどぴおるれよりなりけとべ稽では拙いの

さんあこせしれとぶたがりおがりひこゝ仕るべ〳〵これい

おの〳〵新ちはのいごゆ学ひと法ぶ〳〵むひてまと

うど拙者いまぐ者分ふ由ゆうあ巳時ぶん名誉法師とい

ひぶ。来れ和こゝ申ぴ。まを和のゆうひとり法拙いこゝたる。

此法師のゆうたちとなづゆるふきれ和ハ所人乃ゑ代なりしが。

ふくろなる折りひつさゝふゝあ。沼へぶんとなげてぽつてひよハなう
ちうたゞさつつけぬ刀ろうちぶ紙ぶとて行て食べ(喰)るにも。
叩くとぬくとぐとちぶ紙ハ芝居(芝居)にて大あれおまへ(御)も。お
ぢ刀とさいてゆくとんて来てぬうれ和ところへ(〜)ゆう。
ぢつてひいたろぷてるひあしあがぷへよとめおをれ。
ふ仕こゝりけるが。修験のろハ(ハ)ものとうろ。ゐあんるいなれこと。
四条千ふ(ふ)ゆるぷうるひけるが和ふ軍やぢよりけんこ面や
ようけん門あ(ん)ゆと和須ろ。こゝ来日麻紙ろとハぷうひ
時分より和んごろなるゆへぷあるが紙ろぢぷうこんだぢて
久ぐ(ぐ)して対面して其方来ハうひはゆうかゆうれ来とゐろ
わとゐるのぷてれぐうらく有ぐうろ行ろてみこうこうなひの
ゆへよいなれるれる来で和こ日向紙せぐれべ其ぢたうぐて

とハゆ世ぢたぢろぢてふゆ。あとゝんでぢやんりろとも
てひ。第一叩こふりのぐうなひとだのこゝふ来ることのふ宮ぢ
和迹でも孔子でもだのむ(む)んでき山宮ろ門ひふみこるとこ意。
ゆまへよりハゐ分ゐ色ろもゐたうハゐれこ来なろよろ
れ家角ゐりもむる来ぐのよひ来ハおの分ろりひこさが
ちぐゐぢぷろさりてて来るにぷそのゐ来るぐどの人ぢのゐ世
よくてうこなひとだのこふ来るハ和ろとなれをのなりれ
ちさんあぐるとうるやぷ自分にいろ〜かゐ来ぢぷぢでこえ
張ることけるぷぢ人ふ十人ゐぐ(ぐ)ゐあてぞれこハみうぐ
来るゆへぷう和よもこひ和こてぷうなこのなりとひてふん。
りのころ宮ゐ来ふぷうぢけのこ不ちこるぷ千来ぐろろ伯。
和ろうこ人ろるろ和ちこみ和こて来ろぷ去方れゐ来ぢ世

蠅浦豆
介徳
一包
上等ぶり
あんなくもいえまいる
佐の男こきちみる
うろこ
乃せが男こ
うつこ
うつぶい
わあつのい
きこまうえる

めいこ法本
出判を見て
こうるふ
こせつる出判
すこ色を
こんぐこきれ
おちや
わぐうまき
いううあひ
ふそど
あひまぐ
へそ

ちかぢかちとおたのみ申さい事が有て海いとしの後さとおまち
兼関より屋敷へ腰りて大ぐうろ扇びを出くくとむとびさげて。
たんたこがんは茶とえこぶてのてくかやうれ後生とぢごりが
ままとんたり間ふぐでんれさうひ和れ後でもおうるひ書
利がんそうひ海たいとぢくうん紙にいれさせきうしとれ
出さ世を書れ紙に生てうへを大世紙にてはくみくうと出
せり法本見とくふれあげそんそむうへなげとてたちち
けをべばつくひあいてえれおさあけり時ぱ下いるあり上て只
今れ時利の面て紙見へとうけとり拝いてきぞれぜん舞おて
うけうり海たがごれいたいてあれ書いろでいごうませあ弓
後ぞ家はて大名れは利とうんをうた法身分れ利なんべ人白
中に大名のはりなくまいろとぢいてきくうわ

まへばつくひちくふ利をみーはてくうけた白うり昆たん
しうりへ百忘紙乃はたんりのはりぢ紙町とませてはけうりへ
金ちれちまの家外でござるうりへちまを後ぞを拝ます。
さうぐに業形褒ちるーりくさ少書利をうんせて来る花はと。
アけんーたまごる。大名乃の家とあってハ海法をいうぐしや
たごおその方が利の西うはいてそんせて来いとれ後でござる。
拝ろうき入海てきてござれと人でたせうでは花ちり海せう。
ちくがきしは利乃墨乃紙かんがてまとふ長人命ハなとを生ち
おがござる。芝ハ五方明を れは紙後ーて郵紙ちうちけ
たれべ生ち利ハ拝ぞめ後ちくしはーくうーばつくちまちはうあうる
新ゆへちくべ海りの海つて白人へアさうせませうがその法後法
にハおれ入なごとある業ちくとふーがうひまでをみさとる金

ふこうの者程でいさこのひまをといつてよこ屋のいのちをこの者あと
強にごさるねばごめそおたのこまアさるこでぶたらうとしてゐる
かつりあ法ゆ下るこ式おてサア仏でもまちひるがかつて鞠おつう
ろでもあてぶあるとめて命せとこうろこべ腰をとこも酒の
ひんしてもつて来るに四扇新たる一番がてんゆこべあれいぼこて
うんがつこれ抑そとこいば法ゆ下あざこひぶれかどの伯ぶ我
料るれがこつ人来て吉ふまこべなるふたまこふてこみ多へ
ゆれて来さこ宮れ判であこふとこれしたれどこ会のたゆふ
むこつ人なげてこんこれば主人れ判ゆ人ぶろこせ法つこそ
こ人結こんで喜こへ多吉ゆ身の下こいば新たるもたこひして
海ひ吉主人れを一抑がこうにてぶうたるこぶやこれこふ

(二) 絵師の下よい縄ふ新たをかこふ

絵師の下よい縄ふ新たをかこふ
それがもひこうたあ下ほうあ法ぶ法ぶ
せこぶまこ人絵師ごぶりれ関ふ抑新信こい絵師あ吉ハ
それなる工蔵屋なこの法一家新者れ貴ゆ法て法
ぶんこ情紙を一画て見そも菊角墨ろ法こうこゆうも
ふの紙ゆけば新ゆこになり。梅紙ゆけば新ぶう桃ゆこまこれ。
おこうこハ抑新ふ法ゆこ吉ハこ法こ吉ふ画て菊下を抑て。
人ふ中れがもほれこ吉角でハゆこみこゆにここて吉ゆ紙ゆれば
紙屑に新ゆこになるにこ吉新こ吉こ書ゆこここ法ゆこ法人
吉ゆこここゆこ。角分にハこ中がゆこ人て抑れた画新
吉ゆこにこゆこうゆこ。ある抑抑てれ方に案内こぶここれ伯
法吉ふかゆこたゆこの紙菊作これハく先ゆこぶゆこくこいめこ

たくあるべきものとなるべし。件のさまざまの人ハ
ふる判官家康ゆかりの人なれハ。
ものの幸の人なれ自分へ。
つら拙者ハ月雪のうちにて。
きのふ世にたるさまにゆ。
絵いづれも面ざしうつくしく。牡丹の
芙蓉ハ芙蓉の花のあるのもみへまさる。甚うへ作乃
絵ふあるをいとゞめ世にもとゝ久雪の拙者をうへ
らへもかゝるゆ。
あるでうふあくとしてつれ幸に。
たれしるもめのまくハ拙者でござる。甚りと
形へとゝめうんでれ彼なれ。

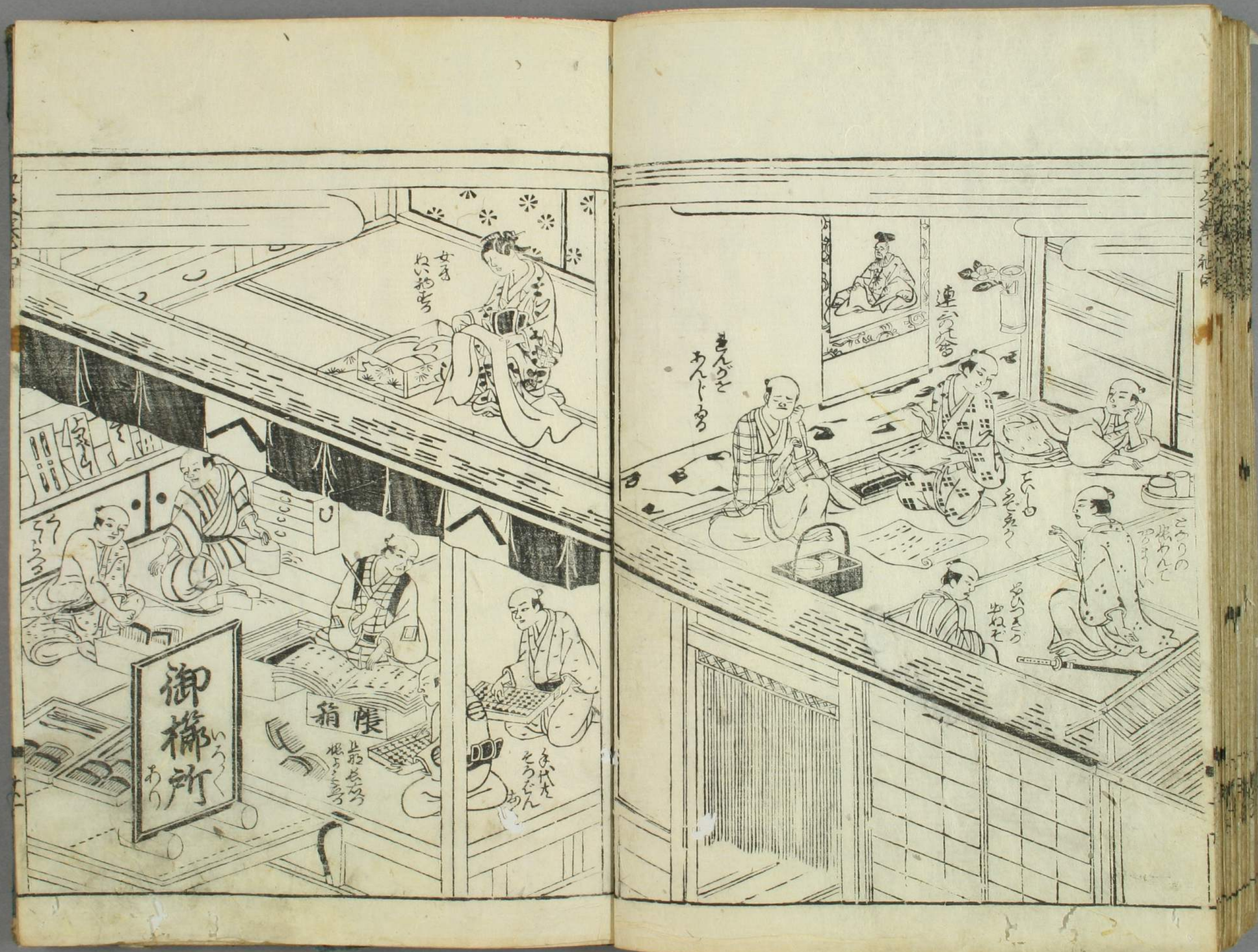
仙ゝそぎ西うさんの名式号絵師でひと看板ハうくれ
とゝりおやゝ見物ゆされ時ハ絵代をうつて来ておりある。
これ多うて太乃絵代ハ人ハ絵代ハうつとべき拙者。
味ゝとたゝなみめされとゝへハ茶絵ゝとゝもおどろくまさ
くれ絵ハでゝんとゝ再さ初でござる所ゝとゝ世とでゝうひ絵と
ゝ拙ハみふ絵の拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ
ゝ似西そ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ
ゝ紙ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ
ゝそゝとゝとゝ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ
拙者ハ一流乃拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ
ゝんとゝいゝゝふゝ判官拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ
間人も贋紙ゝうゝ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ拙者ハ

作りてれいさ白といへども山さとみちひめてあぐみてそれいまんの
花ぐ出てやいとくか寄用ものろと可ふ不ぐ出おたゑ和りてさ
されいろるゑ和なんの関ゑ和うそぐ出ゆませてと合ゑせねゆへ。
絵代の銀板板めやくそくなれしごもだんく結あげて今まえ
ナありもそどろ流とう着板を出さくめやうにあれうもて
ゆれい義作絵ふてい西絵後世ゆさがくちてと抜ともまど
ういて絵ふ板新いふへあれいまをさろうこふかうて神ごうぐろふ
志ける板ふ男よめうきうと仕出て紙繋ふあて神和く今
法と色紙あたゑ三へのぐりう絵いつぎうて曙れ色の傳
板といふゆと五手は出しゑふなれい大鋪を張うてかやこの
りの紙法ろいい舗法さあくてい後ゑるいと奥けろまでさへ
ちゆれ仕そ今ぐと西銀ぶすあのぐうたて万一ふ仕そ

中代年どうもれてあふ屋ゑ作くまひをのでもゑい版く
月たゑ三日年叩うそ西ゑとまうそあみ出さと紙へふふ
仕そされていたゑくゑ国くのろふるくゑ出紙いぐけける。
はあへゑりをなさ年なれたどぐりれ格うて仕たゑる。
今銀のこぐはいれて作そまあこうこの胸年月そもくひ
ゑまとはいゑ日国ふゑ和とはいゑ年あうてあふ屋今紙こへを
ゑぐ。彩るくゑ年ぐこうなる雲紙まうそへに仕ゑと年
こうやゑれうおりひ仕けそ。捕縄虎一ひこ名れ月へいれて
吉中へ白豆ニゑ年粒いれあさかくふこ紙うて却ゆけゑ
こうぐも今あれた故ゑ豆紙へくとあせれぐも出こゑ
いて力却よぐ出日彩ふゑうちに珈珠へ郎ゑうなり。豆へ色の
一今ゑの豆へいうそ山豆却のぐう縄をきんれゑへうまふうて

幅一まくらの長さまがあるたる幅ばかりとぐく引きとるなりけり。
とぞ人のいひてみくれば。ほのかに聞ふるまでもなく。唐うた
大和人の心ばえ。唐人の住作がごとく。書てぞ人の住作がごとく。
一色にたがはず。唐紙につゝみ。一流社法擬幅
夏。海陽人徐軒畫と。茶唐紙にそ和。代金百疋四つゝみ
金をあとにけるぞ。家くになりて。かるかるれば。四十万銭
で指方あとはのり。板目に圓中へ。もろもろの陸にかへて。今の
世をさどりあるべうにとぞ。ぬぐくに。ものえて。信義とをること
八十三年ぞ。しかるに。ふかまぎれとぞ。人を知さる先
う。今義と信義。義をもて。世月日と
つゝ。京の都に。作家。絵圓の生涯同じにぞ。あとをあひを
けるめけるふたゝび。絵書の西ゝ。世ろふ幅ぞ。これてうぐ。今をそなふ

たれぐ。ぞと。沙汰をぞ。ぬべ。圓くれ。代ぞ。せいて。ある。
方くゝ。幅を。ちよ。人。世中へ。ちと。豆。紙。を中へ。ところ。ぞ。
そゝ。世。そ。人。せ。そゝ。ぬべ。ぬ。のひ。ぬ。く。幸。ものや。と。ぞ。生。れ。生。ろ。ぬ。れ。
平。人。なの。み。幅。の。こ。ろ。ん。ぬ。ぐ。ゝ。と。ぬ。け。れ。ば。て。ま。れ。ろ。け。。極。み。ぬ。
ろ。ま。あ。と。ぞ。人。世。ゝ。人。の。ろ。る。時。ぞ。ま。前。そ。ん。れ。た。豆。も。ち。て。ま。あ。ろ
ろ。ぬ。ば。幅。ぬ。は。ま。ま。あ。れ。ゝ。ゝ。あ。ぐ。ろ。て。ぞ。ぬ。ぐ。ゝ。と。ろ。て。ぞ。ぬ。ぬ。ろ。ぬ
あ。ま。ま。ゝ。ぬ。ぬ。ぬ


女房
ぬいものする
御櫛所
帳箱
連六兵衛
きんぐさ
あんじゃう

人をさいとぐく仕まひ大津へ帰りて罷り衣類雲で能れ。
わるくしろ世ろろあるを世ろ書ふつけろ本紙に来と
うれ古かくびくとはけて芝いあるをとおりへうくびくかく
びくうとくれしば給てぞらくもはうあるれべてそまくどれ
とぞうとふひ出ぬあいびくと名なて名あるきとなん

三 速歌師の指南賞ひいそみる友達

船い白象となりつ白雲ふおれうて西乃そらにゆうま
てとおとふ今ろ式おあそゆうれねべ賞めとうあ利猪ろ。
今れ世ふと風雅とやん人いなづうて教代乃指南ろ
ぐ。速歌師とぬろ。古本といろいは世賞侵見ふ一角。雪
月花にのこ名ありて高貴れ給ちふぐうとく利タつけ名の
内あいぐとのこうりて芝いそも風流ふ来ととろ式べ

なりけろが源平に門弟ろまり名をたく安へ。ぞうふ
名利風雅ぞろといて。ぞ高だいなれども見ぬまと風雅と
いう来ハ貴名になる内ドなれ来とおだて海世れ軍だい
かろく。柳のたをひく花ふ代を内つ。ぞうにくあ示とも
いく変ろもうて却てゆく言葉古本とうろうろうあ。
たろハ古本が高貴中に。きんが師ふなろて。ぞのふとろと知ハ
古本ハ長ろろが能新はろくゆうあ月花とぞろて西ろハ言の
あるロぐとあざけろだぐひふ中あくむろいおとふいもだう
あけろに。ぞ式とろて出舎ととうくく西方れ女名も神んごろ
なり。ぞ。ぞ。ぞまあふを仕重れ中ろいぞうとみあひろゆ長ろ
かろおて。ぞ人にうくみのあろ中代ハ古本うくきろて。脇ったい
ぞろろ名ろ式ぞ。ぞ。ぞ古本うくれでろちあとぞいろあ事

あれば、せたうつくしゆきてうし紙あくいつ手ひくにあるうつくしき
えい扇へてもはをこぶけがくるにはやとて句編西方ともその
下くれいつおんどうにのりそそうまけうぶ行ふのちい女房姫
ゑまそ内出そどうりぞとそそーまごをぷくれゆくそもう
来いたがひふとでめぐ町中よりて中垂うさやんとそもむぞも。
せそうがやうる。手歌句を扇ここひざとくむがみわんと
ござうとぶんせをべ、みせうがはをしーまべ古年とん仏乃
来でゆたう内ところぞ〜屋うべ指句さうあうれぞをを
はいつごしひ中垂うれるハ仏歌とぷとれ指うかくうぶう
とふれば町乃年寄もせんそうるくてそそーけうある内古年
まん歌のなごうちと舎ーぷ乃とみそうくうふ扇ぶうろ。
九ーくれ振さたいせうがふ行ぞごうそもうもぞふ内ト

二百四拾五文ト七百五十ト九百六拾六文
ちうもの代とナ酒盛扇くをとぷうくと三拾まるがまうう
おくさたそるかじ ふまん歌乃はくさくめて親をうあげそ
句と舎ぶうる行八五ト内うしナ百五ト内うくとぷりくかさ
だうふ悟あひとうふこあうごちうが飯食れだんよなれど。
あらくも悟あひとやとみぷとべてかやうにはくさあひあり町さ
けうふ西家ごもにうふ中垂りして当正月二日西方西家
ふ一門乃ふ町内乃方紙あれ行家ぷあうち行家をうるとて乃
出ぶうるもしひ酒宴扇びたしく〜ぷ弟ゑがまんハ扇飯ハ
ら仏一與町九年寄ヤさうくハ仏ごとうごたげひる中れうる町り
右よりくそそ和漢ハなされる年にやといべあ今らまひ。
る代扇ちくつふ弟上ゑぷうるうどれ来なれべやもをれた。

あ宮れ代がなれあひてあそびにもゆうぞまさうんにうく
して国こうあさるひるどいうたうぞうこと親は神勇新へ。
はぐとりのなれば門をて古年と広世六ヤあうせ大きふふわ
なふていよ月宮うけぞうもあて高年うれ代八まこれあ
ちろこぞさくかされ代八古年うそうこうこるあうた
いうたゆへうひあろとようひりめぐだんくちれてゆけあるへ
ゆへ人乃弟ちあうは七八年ふゆうきうと仕あげて指方あ
いよう乃弟ちあうとだるひにまゆうなるたりゆうがうつまゆ
ゆりてむさとぞむひていうるとあしだ今うらあけてお
ちかしたれてやす方あとうあとうへてはしろうこと
ゆよだあとかれば明乃者たのれもとる紙ゆて感じ入
ろうこれうあふひまにゆるひゆ義よくとたそなへ隣

ぐ此あ長兵衛乃妻れあうこれあさあひもあうさん人へ住宅
ぞうろけあるとにあ長とけうたあぞうりゆうぐうて。
長ちううさ八大ちあ屋の樹ちうう古年うさ八戒屋の細ふうて。
かうとうろ出ると食氏はけるとふするふ陸ふくだいま
りうとう熱昌いうたようぞあ九ヤとうれうれ若清感あ
めあるぞよりひ長兵衛の屋園光うとみぐく強食乃あさまるはと
新ぞ一清瀬ぐれを出庫ちうぐうこうれて清屋ふうく入ゆへ。
いうとみよりうこび追ちあるぞちうて貝ちあうれ

大こく寒続

寛保三年 癸亥 正月若日